

第2章 津島市の現状

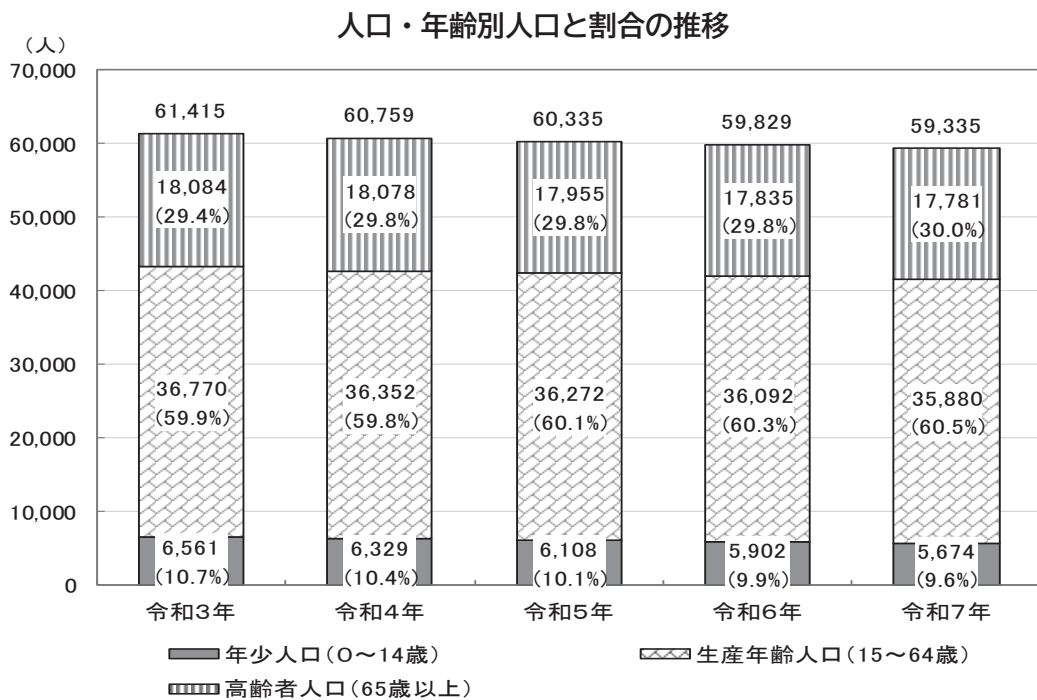
1 人口等の状況

(1) 人口及び世帯数の推移

人口

①総人口

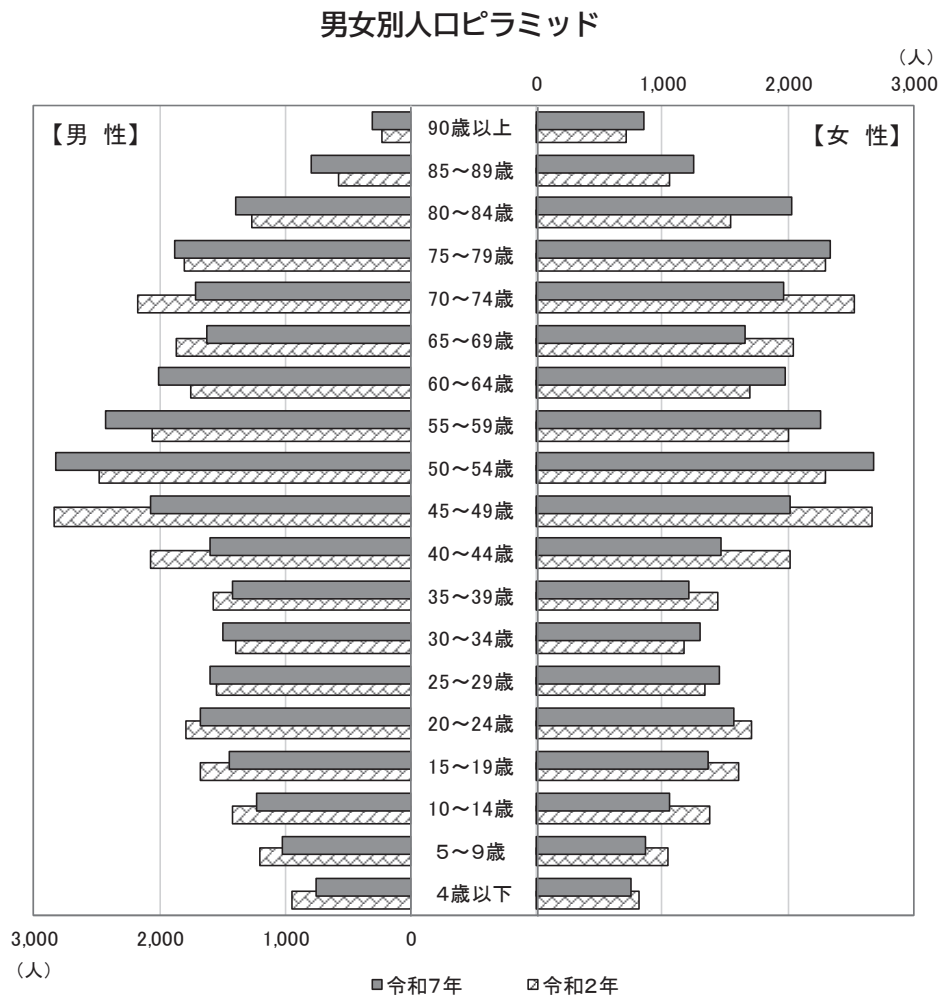
- 総人口は、近年において減少傾向が続いており、令和7年では59,335人となっています。また、年齢3区分別にみると、すべての年齢区分で減少傾向となっており、令和7年では年少人口（0～14歳）は5,674人、生産年齢人口（15～64歳）は35,880人、高齢者人口（65歳以上）は17,781人となっており、高齢化率は30.0%と全体の3割を占めています。



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

②人口ピラミッド

- 年齢5階級別の人口構成は、令和7年では男女ともに、昭和46年～昭和49年生まれの第二次ベビーブーム期に生まれた団塊ジュニア世代にあたる50代前半が最も多くなっています。
- 令和2年と比較すると、男性は55～59歳、女性は80～84歳で最も増加しています。

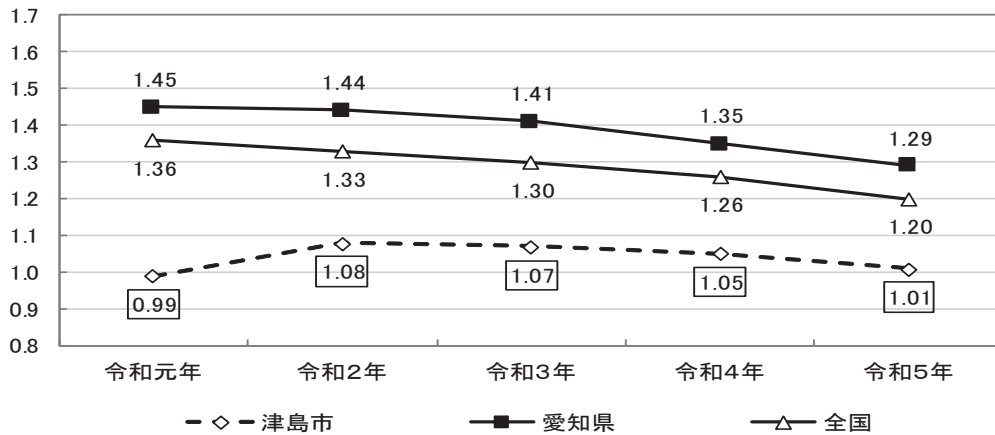


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

③合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は、令和2年以降減少傾向となっており、令和5年では1.01となっています。
- 愛知県・全国と比較すると、依然として愛知県・全国を下回っています。

合計特殊出生率の推移



資料：全国・愛知：厚生労働省 人口動態調査

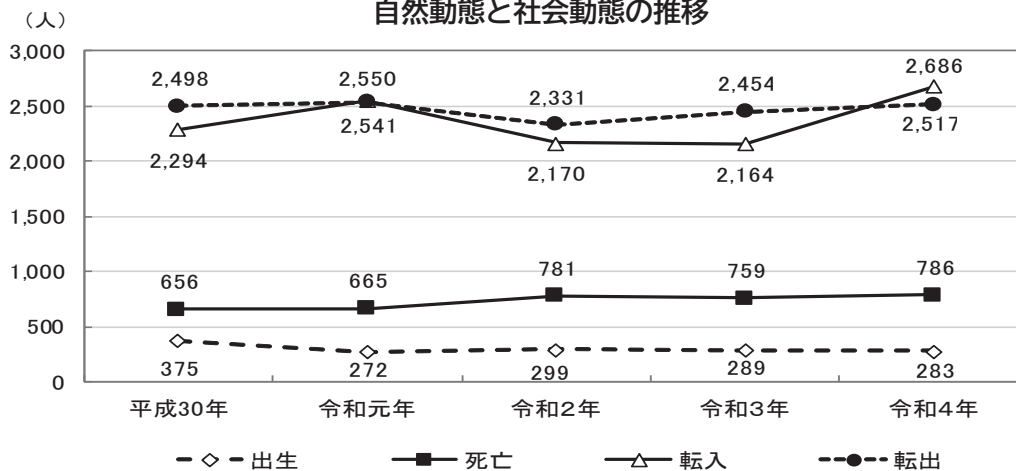
愛知県衛生年報、愛知県人口動態調査（令和5年）

津島市：健康推進課

④自然動態と社会動態

- 自然動態は、死亡数が出生数を上回っており、令和4年では出生が283人に対して死亡が786人となっています。社会動態は、平成30年以降転入・転出ともに増減を伴いながら推移しており、令和4年では転入数が転出数を上回っており、転出が2,517人に対して転入が2,686人となっています。

自然動態と社会動態の推移

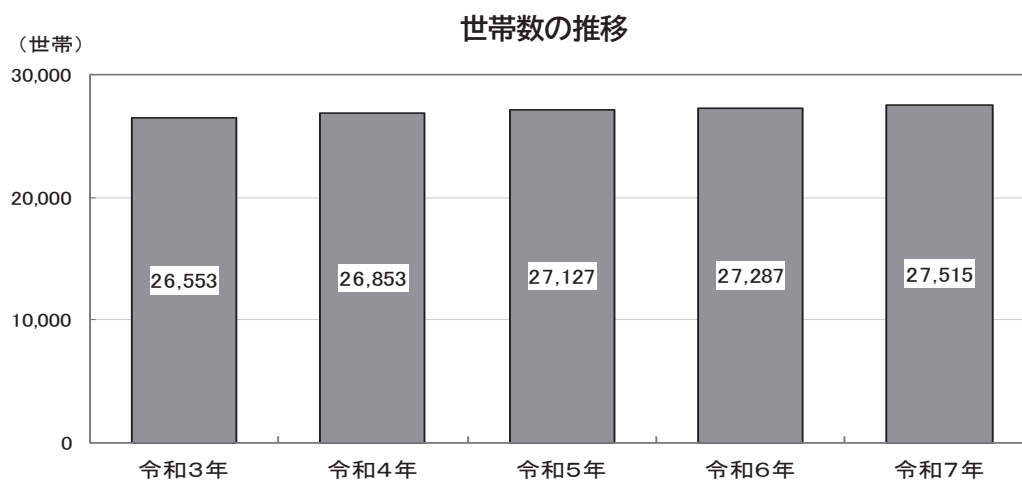


資料：愛知県の人口動態調査

世帯数

①世帯数の推移

- 世帯数は、近年において増加傾向が続いており、令和7年では 27,515 世帯となっています。



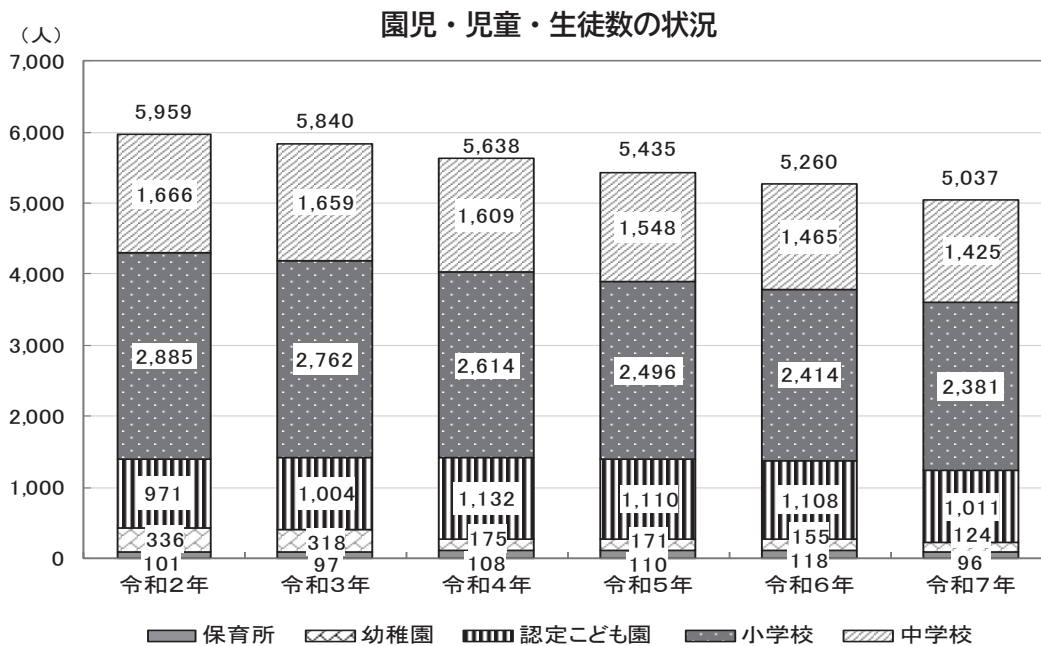
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(2) こども・高齢者・障がいのある人・外国籍市民等の状況

こどもの状況

①園児・児童・生徒数

- 保育所・幼稚園・認定こども園の園児、小学校児童数、中学校生徒数の合計は、近年において減少傾向が続いており、令和7年では5,037人となっています。



資料：学校基本調査（各年5月1日現在）
幼児保育課（令和7年）

②ひとり親世帯の状況

- ひとり親世帯は、令和2年では「女親と子どもからなる世帯」の一般世帯に占める割合が8.8%で、平成27年からやや増加傾向となっています。
- 愛知県・全国と比較すると、「夫婦のみ世帯」、「夫婦と子どもからなる世帯」、「男親と子どもからなる世帯」、「女親と子どもからなる世帯」、「その他の親族世帯」とともに、愛知県・全国を上回っています。

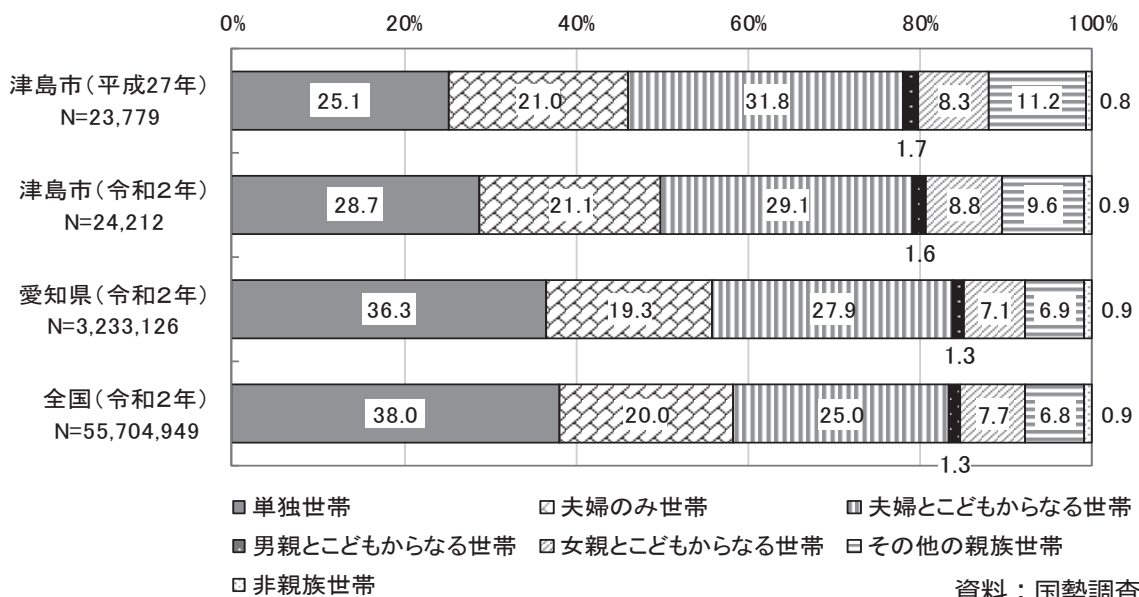
世帯構成の状況

(単位：世帯)

区分	津島市		愛知県	全国
	平成27年	令和2年	令和2年	令和2年
一般世帯数	23,779	24,212	3,233,126	55,704,949
単独世帯	5,971	6,950	1,175,221	21,151,042
	25.1%	28.7%	36.3%	38.0%
核家族世帯	14,948	14,663	1,794,260	30,110,571
	62.9%	60.6%	55.5%	54.1%
夫婦のみ世帯	5,000	5,102	623,565	11,158,840
	21.0%	21.1%	19.3%	20.0%
夫婦と子どもからなる世帯	7,567	7,043	900,894	13,949,190
	31.8%	29.1%	27.9%	25.0%
男親と子どもからなる世帯	409	392	41,751	738,006
	1.7%	1.6%	1.3%	1.3%
女親と子どもからなる世帯	1,972	2,126	228,050	4,264,535
	8.3%	8.8%	7.1%	7.7%
その他の親族世帯	2,653	2,318	221,731	3,779,018
	11.2%	9.6%	6.9%	6.8%
非親族世帯	192	221	28,887	504,198
	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%

※不詳世帯を除く

資料：国勢調査



高齢者の状況

①高齢者世帯の状況

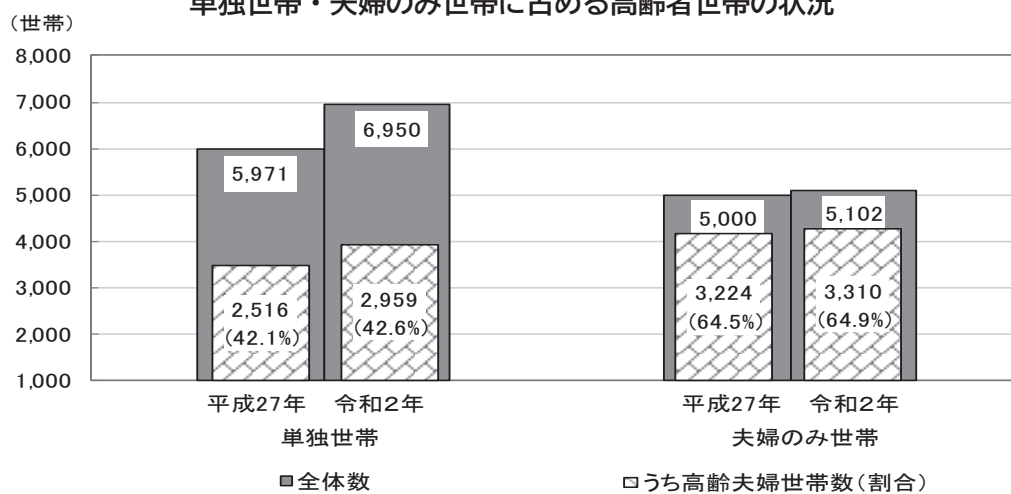
- 高齢単身世帯と高齢夫婦世帯は、平成27年から令和2年の5年間で、高齢単身世帯は443世帯、高齢夫婦世帯は86世帯増加し、それぞれが一般世帯に占める割合も増加しています。また、単身世帯に占める高齢単身世帯の割合、夫婦のみ世帯に占める高齢夫婦世帯の割合はともに微増しています。

高齢者世帯の状況 (単位：世帯)

区分	平成27年	令和2年
高齢単身世帯	2,516 10.6%	2,959 12.2%
高齢夫婦世帯	3,224 13.6%	3,310 13.7%

資料：国勢調査

単身世帯・夫婦のみ世帯に占める高齢者世帯の状況



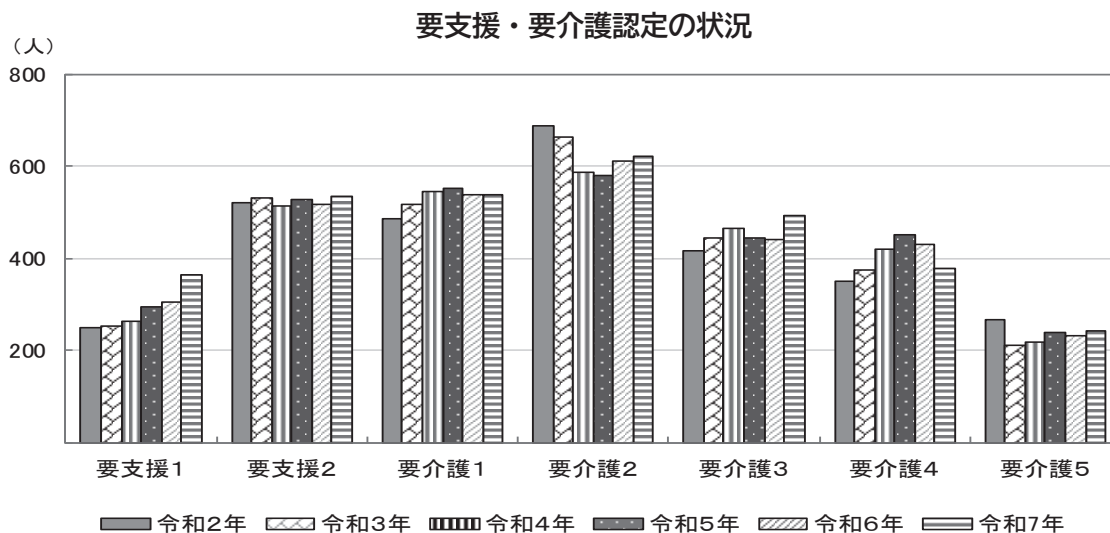
資料：国勢調査

②要支援・要介護認定の状況

- 要支援・要介護認定者数は、近年において増加傾向が続いており、令和7年では3,176人となっています。また、認定区分別でみると、令和2年から令和7年にかけて要支援1は1.46倍で115人増加し365人、要介護3は1.18倍で77人増加し494人となっています。

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
要支援	1	250	252	263	296	307	365
	2	523	531	514	529	518	536
要介護	1	485	517	545	552	538	538
	2	687	664	587	580	611	622
	3	417	444	467	445	440	494
	4	349	374	422	452	430	380
	5	267	212	218	238	233	241
合計		2,978	2,994	3,016	3,092	3,077	3,176

資料：高齢介護課（各年3月31日現在）

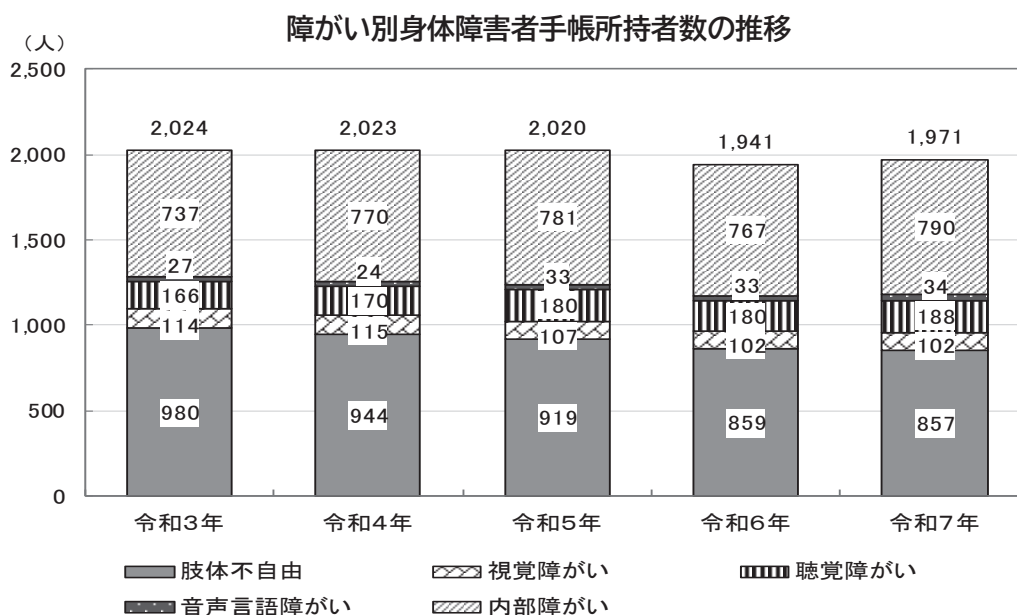


資料：高齢介護課（各年3月31日現在）

障がいのある人の状況

①障がい別身体障害者手帳所持者数

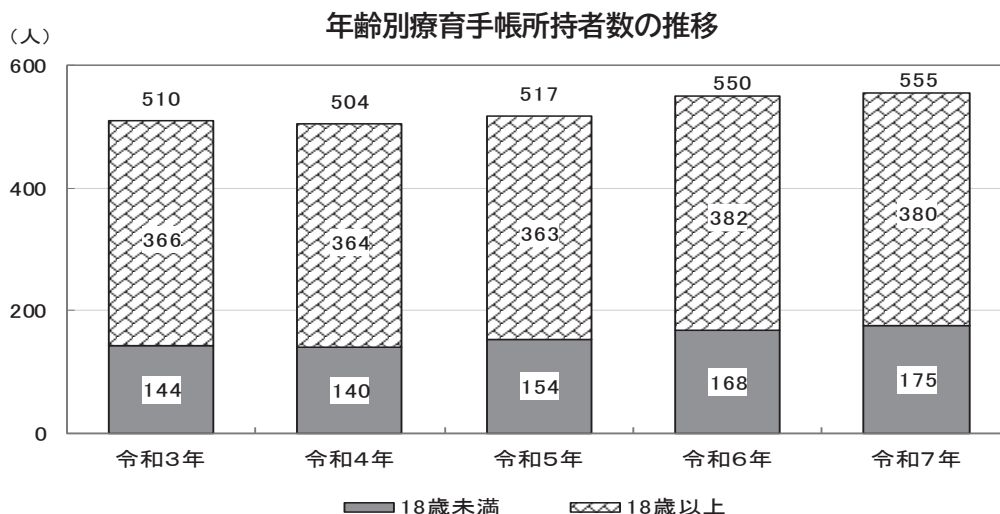
- 身体障害者手帳所持者数は、令和6年以降 2,000 人を下回っており、令和7年では1,971 人となっています。



資料：福祉課（各年4月1日現在）

②年齢別療育手帳所持者数

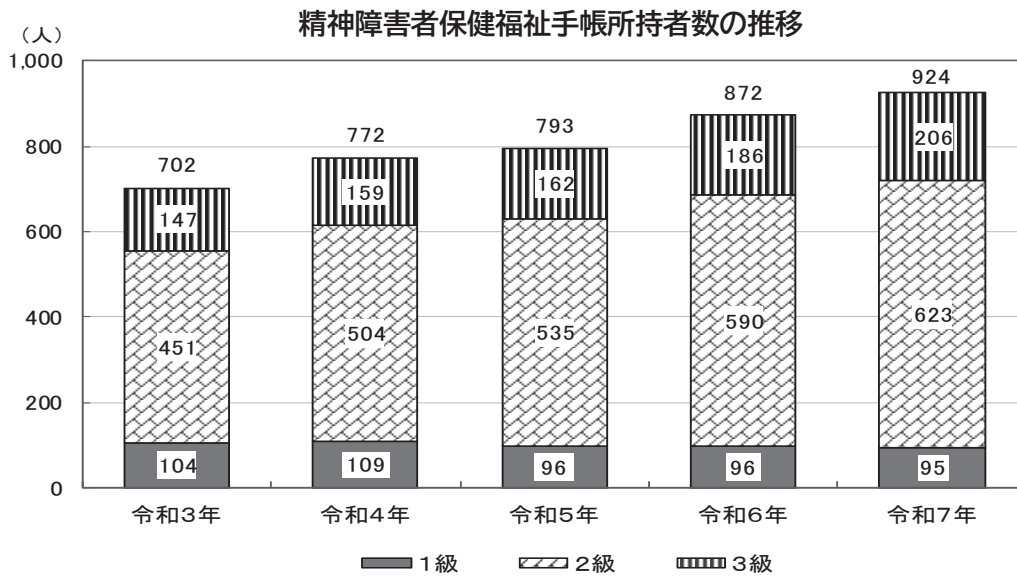
- 療育手帳所持者数は、令和3年から令和7年にかけて 45 人増加しており、令和7年では 555 人となっています。また、年齢区分別にみると、令和3年から令和7年にかけて 18 歳未満は 1.22 倍で 31 人増加し 175 人、18 歳以上は 1.04 倍で 14 人増加し 380 人となっています。



資料：福祉課（各年4月1日現在）

③精神障害者保健福祉手帳所持者数

- 精神障害者保健福祉手帳所持者数は、近年において増加傾向が続いており、令和7年では924人で、令和3年から令和7年にかけて1.32倍で222人増加しています。等級別にみると、2級が最も増加しており令和3年から令和7年にかけて1.38倍で172人増加し、令和7年では623人となっています。

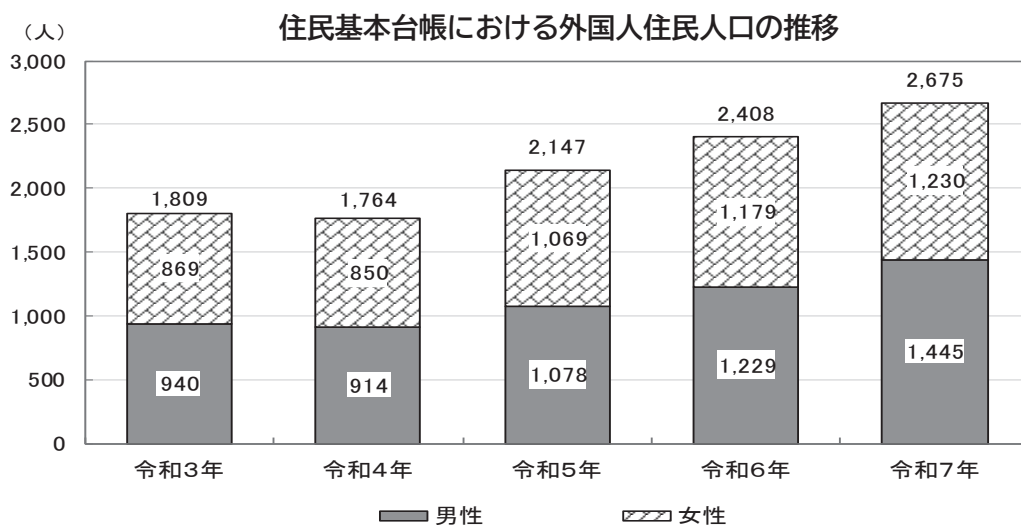


資料：福祉課（各年4月1日現在）

外国籍市民の状況

①住民基本台帳における外国人住民人口

- 住民基本台帳における外国人住民人口は、令和5年以降増加傾向となっており、令和3年から令和7年にかけて1.48倍で866人増加しています。



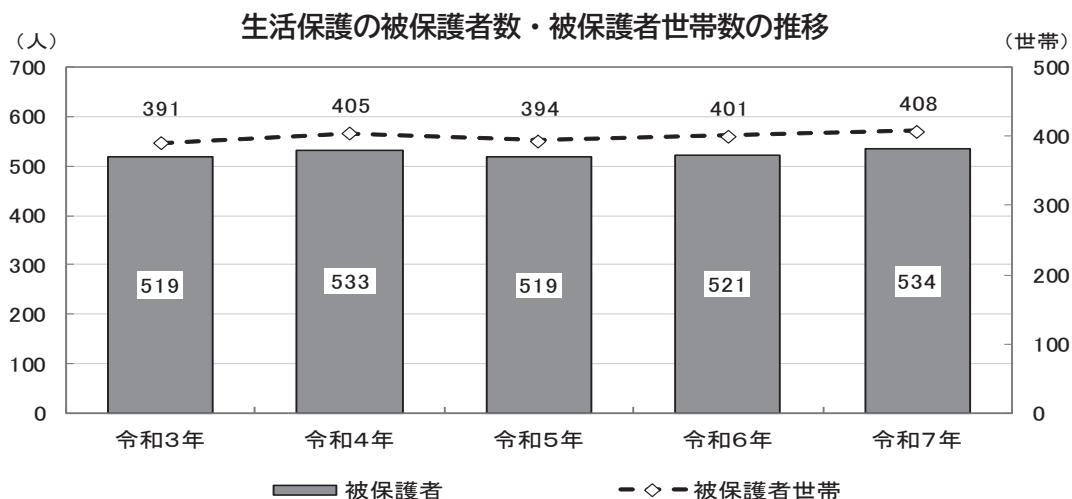
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(3) 支援等を必要とする人の状況

生活困窮者の状況

①生活保護の状況

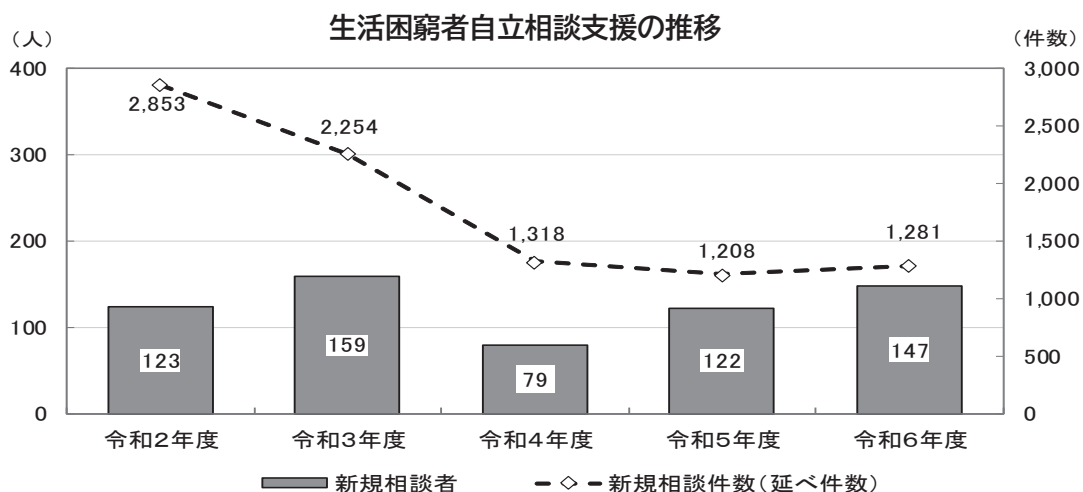
- 生活保護の被保護者数・被保護者世帯数は、ともに横ばいで推移しており、令和7年では被保護者数が534人、被保護者世帯数は408世帯となっています。



資料：福祉課（各年4月1日現在）

②生活困窮者自立相談支援の状況

- 生活困窮者自立相談支援の新規相談者数は令和2年度から3年度にかけては増加傾向でしたが、令和4年度は減少しています。令和5年度以降は増加傾向となっており、令和6年度では147人となっています。また、新規相談件数は令和2年度以降減少していましたが、令和5年度以降は増加傾向となっており、令和6年度は1,281件となっています。



資料：福祉課

成年後見制度の状況

①成年後見制度利用者数

- 市長申立てによる成年後見制度の利用者数は、令和2年度と令和4年度では高齢者でそれぞれ1人となっています。

市長申立てによる成年後見制度の利用者数 (単位：人)

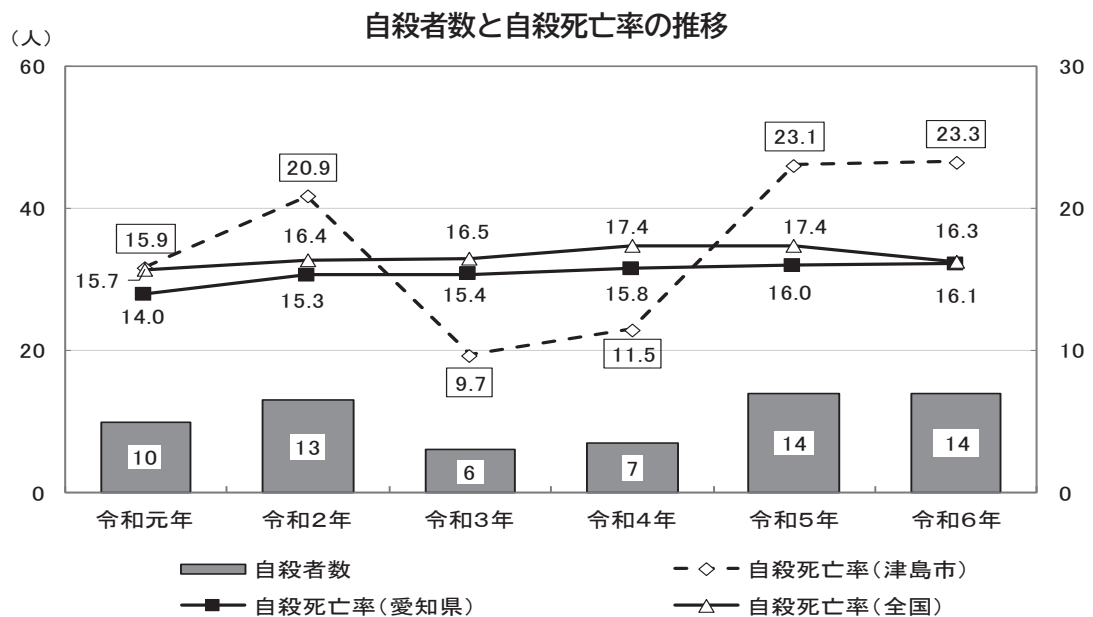
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高齢者	1	0	1	0	0
障がい者	0	0	0	0	0
合計	1	0	1	0	0

資料：福祉課・高齢介護課

自殺者の状況

①自殺者数と自殺死亡率

- 自殺者数は10人前後で推移しており、人口10万人当たりの自殺者数である自殺死亡率は、自殺者数の推移と同様の傾向となっています。また、令和元年、令和2年、令和5年、令和6年は全国・愛知県と比べ自殺死亡率が上回っています。



資料：全国・愛知県：厚生労働省 人口動態調査
津島市：健康推進課

犯罪の状況

- 津島市の犯罪件数は令和4年以降増加しており、令和5年では人口10万人当たり546件となっています。また、再犯率は令和2年以降減少傾向となっており、令和5年では43.5%となっています。
- 愛知県と比較すると、犯罪件数は令和3年以降は愛知県を下回っています。また、再犯率は令和2年以降、愛知県より低く推移しています。

津島市と愛知県の犯罪件数及び再犯率の推移

(単位：件)

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
津島市	認知件数	336	277	308	324
	犯罪件数 (人口10万人当たり)	551	460	515	546
	再犯率	47.4%	46.0%	43.2%	43.5%
愛知県	認知件数	39,897	37,832	41,248	46,832
	犯罪件数 (人口10万人当たり)	529	503	550	626
	再犯率	49.2%	47.6%	48.3%	47.4%

※再犯率は少年を除く

資料：愛知県犯罪統計書 愛知県人口動向調査
中部矯正管区更生支援企画課

第2章 津島市の現状

2 社会福祉の状況

(1) コミュニティ推進協議会・福祉関連団体

コミュニティ推進協議会

- 8つの小学校区ごとにコミュニティ推進協議会が設置されており、それぞれ様々な部会を設置して活動しています。

コミュニティ推進協議会の概要

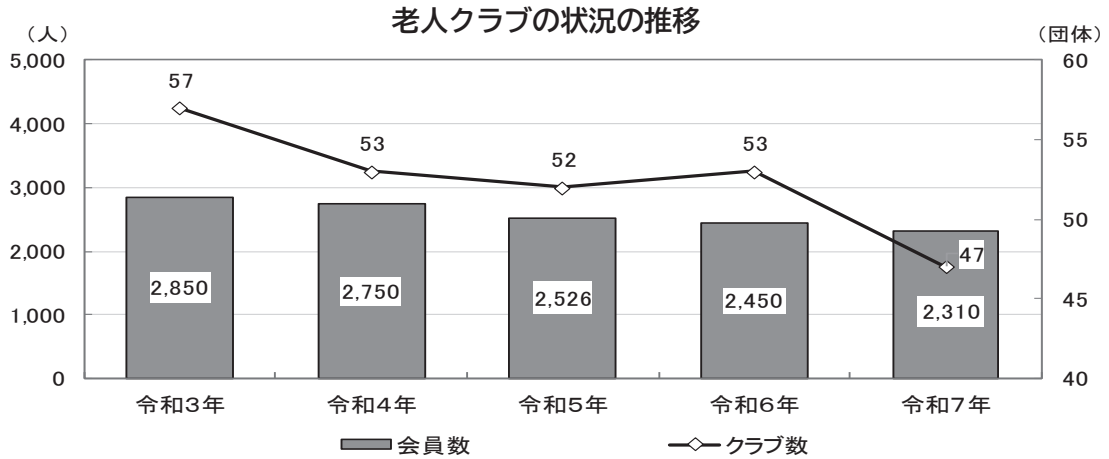
名称	拠点施設	人口 (人)	世帯数 (世帯)
東小学校区コミュニティ推進協議会	東小学校区コミュニティセンター	9,922	4,643
西小学校区コミュニティ推進協議会	大崎会館、西地域防災コミュニティセンター	10,180	4,680
南小学校区コミュニティ推進協議会	南小学校区コミュニティセンター	8,790	4,224
北小学校区コミュニティ推進協議会	北小学校区コミュニティハウス	5,404	2,714
神守小学校区コミュニティ推進協議会	神守小校区コミュニティセンター	8,801	3,949
蛭間地区コミュニティ推進協議会	蛭間地区コミュニティセンター	5,311	2,379
高台寺小学校区コミュニティ推進協議会	高台寺小学校区コミュニティセンター	3,784	1,703
神島田小学校区コミュニティ推進協議会	神島田小学校区コミュニティセンター	7,143	3,223

資料：市民協働課

人口・世帯数：住民基本台帳（令和7年4月1日現在）

老人クラブ

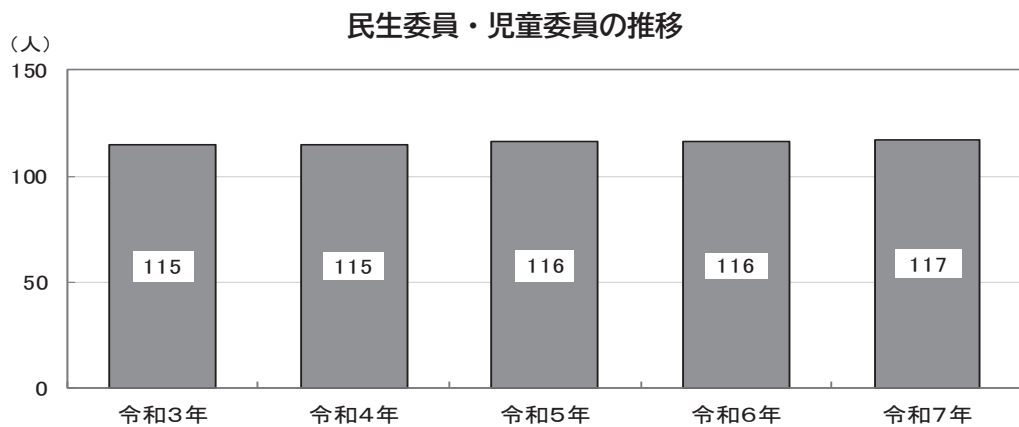
- 市内の老人クラブは、令和7年では47団体、会員数は2,310人となっています。



資料：高齢介護課（各年4月1日現在）

民生委員・児童委員

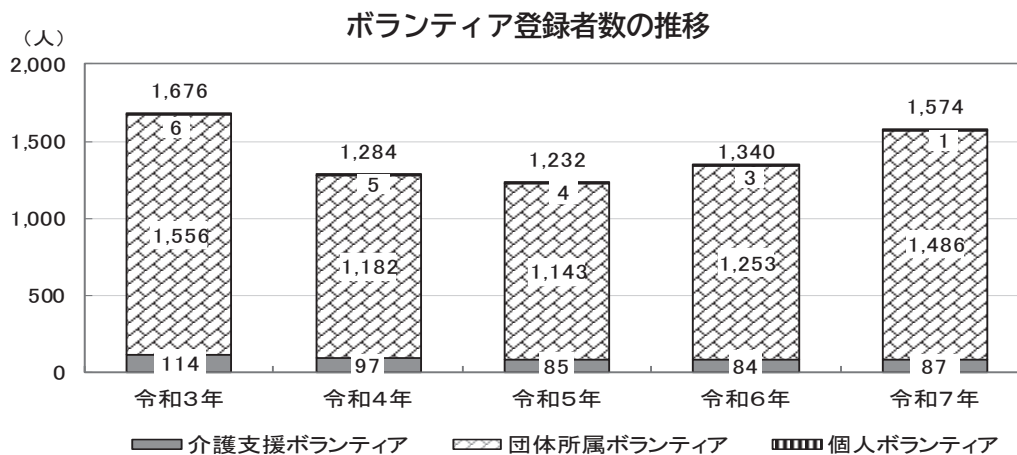
- 民生委員・児童委員数は、令和7年では117人となっています。



資料：福祉課（各年4月1日現在）

ボランティア

- ボランティア登録者数は、令和5年以降増加傾向となっており、令和7年では1,574人となっています。また、ボランティアの内訳について、団体所属ボランティアが令和5年以降増加傾向となっており、令和7年では1,486人となっています。



資料：社会福祉協議会（各年4月1日現在）

地域福祉の活動状況

- 市の地域福祉活動は、地域の団体や活動者と市・市社会福祉協議会等が連携を図りながら、取り組んでいます。

地域福祉活動の状況

事業名	赤い羽根共同募金	事業名	福祉教育
概要	ボランティア団体や地区社会福祉協議会と協働し、赤い羽根共同募金の街頭募金活動を実施します。寄せられた募金により地域福祉推進事業や高齢者、障がいのある人、児童、青少年などに向けた福祉事業を実施します。	概要	地域で暮らしている障がいのある人や高齢者等との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき、日常的な実践活動へと広げていくことで、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育みます。
取組の様子		取組の様子	
事業名	災害対策事業	事業名	ふくしくん広場
概要	災害ボランティアセンターの設置運営を担う市社会福祉協議会として、マニュアルに沿った手順確認のほか、被災者からの多様なニーズに対応できるスキルを向上させるため訓練を実施します。また、発災に備え資機材を整備します。	概要	親子等で楽しめる催しや、おもちゃ遊びを通してふれあう場の提供、親同士等のネットワーク作りの支援のほか、催しを通してボランティア等の活躍の場を提供します。
取組の様子		取組の様子	

第2章 津島市の現状

3 前期計画の目標値に対する実績

- 前期計画の基本施策ごとに掲げた目標値に対する実績は、次のとおりです。

基本方針Ⅰ 地域での理解

基本目標	指標	現状値	実績値	目標値	指標内容
		令和 元年度	令和 6年度	令和 7年度	
1. 地域で支え合う意識の啓発【重点】	近隣の人と日頃から助け合っている人の割合	20.9%	15.7%	27.2%	地域福祉に関するアンケート調査
2. 福祉教育の推進	福祉教育実施学校数	11校	10校	15校	-
3. 情報提供の充実	必要な福祉サービス情報を十分入手できている人の割合	14.1%	16.0%	18.3%	地域福祉に関するアンケート調査

基本方針Ⅱ 地域での共生

基本目標	指標	現状値	実績値	目標値	指標内容
		令和 元年度	令和 6年度	令和 7年度	
1. 支え合いのまちづくりの推進【重点】	ボランティア活動をしている（過去にした）人の割合	21.6%	22.0%	32.4%	地域福祉に関するアンケート調査
	コミュニティ推進協議会活動に参加している人の割合	49.5%	43.8%	64.4%	地域福祉に関するアンケート調査
2. 地域における包括的支援の充実	生活困窮者自立相談支援の新規相談実人数	148人	147人	180人	-
3. 権利擁護の推進	日常生活自立支援事業の相談件数	23件	5件	35件	-
	認知症サポーター養成講座の受講者数	523人	225人	650人	-

基本目標	指標	令和 元年度	令和 6年度	令和 7年度	指標内容
4. 地域福祉の担い 手づくりの推進	ボランティア登録者 数	2,064 人	1,486 人	2,200 人	-
	ボランティアコーデ ィネート件数	29 件	32 件	35 件	-
5. 生きがいづくり と交流の推進	「住民同士のふれあ いや交流」の状況が 良い（大変良い）と 回答した人の割合	11.0%	10.5%	14.3%	地域福祉に関す るアンケート調 査
	ふくししくん広場参 加者数	139 人	146 人	200 人	-

基本方針Ⅲ 地域での安心

基本目標	指標	現状値	実績値	目標値	指標内容
		令和 元年度	令和 6年度	令和 7年度	
1. 相談体制の充実 【重点】	困りごとがあるとき 行政（市役所など） に相談する人の割合	5.1%	4.5%	11.0%	地域福祉に関す るアンケート調 査
	困りごとがあるとき 社会福祉協議会に相 談する人の割合	1.7%	1.7%	5.1%	地域福祉に関す るアンケート調 査
2. 保健・福祉サー ビスの充実	「住み慣れた場所で 暮らし続ける仕組み づくり」に満足（や や満足）している人 の割合	13.0%	22.7% ※	16.9%	市民意識調査
3. 防災・防犯の 推進	「防災（災害時の体 制整備）」の状況が 良い（大変良い）と 回答した人の割合	11.1%	14.0%	15.9%	地域福祉に関す るアンケート調 査
	「防犯（犯罪の少な さ）」の状況が良い （大変良い）と回答 した人の割合	27.8%	32.5%	39.8%	地域福祉に関す るアンケート調 査

※令和7年度の実績

第2章 津島市の現状

4 前期計画の評価

- 地域福祉に関する事業について、各担当課が基本目標・施策の評価を行い、以下のようにまとめました。1つの事業に対して複数の課が関わっている場合は、各課それぞれで事業を評価しました。

4段階評価

- A：計画どおり進行中
- B：概ね計画どおりだが、一部未実施
- C：未着手
- D：廃止または完了

基本方針Ⅰ 地域での理解

<行政>

基本方針・基本目標・取組施策	担当課	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅰ 地域での理解 ～地域福祉の理解を深め、地域で支え合う意識を共有しよう～	13	8	4	0	1
基本目標1 地域で支え合う意識の啓発					
(1) 地域福祉の意識啓発	4	1	2	0	1
①広報紙等を通じた周知啓発の充実【重点】	3	1	2	0	0
②地域福祉に関する講座の開催【重点】	1	0	0	0	1
(2) 人権尊重に対する理解促進と社会参加の推進	6	5	1	0	0
①人権に関する啓発活動	1	1	0	0	0
②南文化センターを拠点とした社会参加の支援	1	1	0	0	0
③多文化共生の推進	1	1	0	0	0
④虐待防止に関する施策の推進	3	2	1	0	0
基本目標2 福祉教育の推進					
(1) 学校等における福祉教育の充実	2	2	0	0	0
①豊かな社会性を育む地域学習・体験活動や生涯学習の推進	1	1	0	0	0
②福祉教育の充実	1	1	0	0	0
基本目標3 情報提供の充実					
(1) わかりやすい福祉情報の充実	1	0	1	0	0
①わかりやすい福祉情報の提供の充実	1	0	1	0	0

- 基本方針Ⅰの「地域での理解」では、9事業のうち、「A：計画どおり進行中」が8件、「B：概ね計画どおりだが、一部未実施」が4件、「C：未着手」が0件、「D：廃止または完了」が1件でした。「B：概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、9事業のうち8事業を実施しています。

<市社会福祉協議会>

基本方針・基本目標・取組施策	担当G	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅰ 地域での理解 ～地域福祉の理解を深め、地域で支え合う意識を共有しよう～	4	4	0	0	0
基本目標1 地域で支え合う意識の啓発					
(1) 地域福祉の意識啓発	2	2	0	0	0
①「ふくしだより」、ホームページ等の充実【重点】	1	1	0	0	0
②イベントでの啓発、活動のPR【重点】	1	1	0	0	0
基本目標2 福祉教育の推進					
(1) 学校等における福祉教育の充実	1	1	0	0	0
①福祉教育への支援	1	1	0	0	0
基本目標3 情報提供の充実					
(1) わかりやすい福祉情報の充実	1	1	0	0	0
①「ふくしだより」、ホームページ等の充実	1	1	0	0	0

- 基本方針Ⅰの「地域での理解」では、4事業のうち、「A:計画どおり進行中」が4件、「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」が0件、「C:未着手」が0件、「D:廃止または完了」が0件でした。「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、4事業すべてを実施しています。

■事業の実施状況

<総括>

- 市や市社会福祉協議会では、広報紙やホームページ、SNS、『ふくしだより』の全戸配布、講演会やイベント等を活用し、幅広い世代にわかりやすく福祉情報を発信しています。
- 多文化共生に関する啓発活動を展開するにあたり、各種教室の開催や国際交流協会と連携し、文化や生活習慣の違いを尊重し理解し合うための交流を進めています。
- 虐待防止においては、虐待防止の周知や地域包括支援センター等の関係機関と連携しています。また、令和6年度に「こども家庭センター」を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見、早期対応を実施しています。
- 福祉教育は、学校・保護者・地域全体が協働し、地域活動やボランティア活動等の体験活動を推進するとともに、地域活動の課題に応じた生涯学習の充実を図っています。また、市社会福祉協議会等と連携し、高齢者や障がいのある人への理解促進のため体験学習に取り組む等、さらなる福祉教育の充実を進めています。

基本方針Ⅱ 地域での共生

<行政>

基本方針・基本目標・取組施策	担当課	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅱ 地域での共生 ～我が事として捉え、共生のまちをめざそう～	24	11	13	0	0
基本目標1 支え合いのまちづくりの推進					
(1) 地域活動の支援・活性化	3	0	3	0	0
①地域活動に関する情報発信の支援	1	0	1	0	0
②コミュニティ推進協議会同士の交流・情報交換の場の提供 【重点】	1	0	1	0	0
③既存の公共施設の有効活用	1	0	1	0	0
(2) 地域の関係機関等との連携強化	3	1	2	0	0
①地区社会福祉協議会活動への支援【重点】	1	1	0	0	0
②地域の関係機関等との連携	2	0	2	0	0
基本目標2 地域における包括的支援の充実					
(1) 生活困窮者への自立支援	4	3	1	0	0
①生活困窮者の自立支援	1	1	0	0	0
②ひきこもりの相談支援	3	2	1	0	0
(2) 自殺予防対策の充実	2	2	0	0	0
①こころの健康づくり	1	1	0	0	0
②ゲートキーパーの周知・活動支援	1	1	0	0	0
基本目標3 権利擁護の推進					
(1) 権利擁護の推進	3	1	2	0	0
①権利擁護の推進	2	1	1	0	0
②認知症の施策の推進	1	0	1	0	0
基本目標4 地域福祉の担い手づくりの推進					
(1) 市民活動・ボランティア活動の支援	4	1	3	0	0
①市民活動に関する支援	1	0	1	0	0
②青少年ボランティアの育成	1	1	0	0	0
③介護支援ボランティアの充実	1	0	1	0	0
④認知症サポーターの養成	1	0	1	0	0
基本目標5 生きがいづくりと交流の推進					
(1) 生きがいづくりと交流の推進	5	3	2	0	0
①老人クラブの活動支援	1	0	1	0	0
②通いの場への支援	1	0	1	0	0
③子育てに関する交流の場への支援	2	2	0	0	0
④あいさつ運動の推進	1	1	0	0	0

- 基本方針Ⅱの「地域での共生」では、19事業のうち、「A:計画どおり進行中」が11件、「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」が13件、「C:未着手」が0件、「D:廃止または完了」が0件でした。「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、19事業すべてを実施しています。

<市社会福祉協議会>

基本方針・基本目標・取組施策	担当G	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅱ 地域での共生 ～我が事として捉え、共生のまちをめざそう～	17	15	2	0	0
基本目標1 支え合いのまちづくりの推進					
(1) 地域活動の支援・活性化	2	2	0	0	0
①地域福祉活動に関する情報提供	1	1	0	0	0
②コミュニティ推進協議会の活動支援	1	1	0	0	0
(2) 地域の関係機関等との連携強化	3	2	1	0	0
①地域福祉活動計画の周知	1	1	0	0	0
②地区社会福祉協議会との連携・協働【重点】	1	0	1	0	0
③会員募集、共同募金活動【重点】	1	1	0	0	0
基本目標2 地域における包括的支援の充実					
(1) 生活困窮者への自立支援	5	5	0	0	0
①法外援護支援	1	1	0	0	0
②生活福祉資金貸付の相談	1	1	0	0	0
③くらし資金貸付の推進	1	1	0	0	0
④貸付制度のPRと償還指導	1	1	0	0	0
⑤生活困窮者に対する相談支援	1	1	0	0	0
基本目標3 権利擁護の推進					
(1) 権利擁護の推進	3	2	1	0	0
①日常生活の自立に向けた支援	1	1	0	0	0
②成年後見制度利用の支援	1	0	1	0	0
③地域包括支援センターとの連携	1	1	0	0	0
基本目標4 地域福祉の担い手づくりの推進					
(1) 市民活動・ボランティア活動の支援	1	1	0	0	0
①ボランティアセンター機能の充実	1	1	0	0	0
基本目標5 生きがいづくりと交流の推進					
(1) 生きがいづくりと交流の推進	3	3	0	0	0
①ふれあいサロンの立ち上げ支援	1	1	0	0	0
②高齢者の交流支援	1	1	0	0	0
③未就学児向けサロンの開催	1	1	0	0	0

- 基本方針Ⅱの「地域での共生」では、17 事業のうち、「A:計画どおり進行中」が 15 件「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」が2件、「C:未着手」が0件、「D:廃止または完了」が0件でした。「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、17 事業すべてを実施しています。

■事業の実施状況

<総括>

- 地域活動においては、コミュニティ推進協議会における情報交換会を年1回開催しています。コミュニティ推進協議会が管理する SNS 等の支援をするほか、市が管理するホームページ・Facebook や市民活動情報誌「つし丸カフェ」で情報発信をしていますが、わかりやすい情報を広く届けることが課題となっています。
- 各小学校区に地区社会福祉協議会を設立し、話し合う場を設けて事業を展開しています。市社会福祉協議会では、地域住民が協力して福祉活動に取り組めるような勉強会等の実施が課題となっています。
- 経済的に困窮している人やひきこもり等の把握のため、福祉・教育等の関連部署や関係機関と連携を図り、自立を促すための相談支援や就労支援を継続して実施しています。
- 認知症の人や障がいのある人など判断能力が不十分な人やその家族に対して権利擁護に関する情報提供を行っています。また、令和6年7月に「津島市成年後見センター」を開設し、支援体制の強化を図っています。
- 地域の担い手を育成するため、体験活動や相談、情報提供を行い、各種ボランティアの育成や活動のさらなる拡充を図っています。
- こども・高齢者・障がいのある人等が生きがいをもって暮らせるよう、地域交流をはじめとした相談や出会いの場を提供しています。

基本方針Ⅲ 地域での安心

<行政>

基本方針・基本目標・取組施策	担当課	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅲ 地域での安心 ～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくろう～	41	18	21	1	1
基本目標1 相談体制の充実					
(1) 相談体制の充実	12	6	6	0	0
①高齢者への相談体制の充実【重点】	1	0	1	0	0
②子育てに関する相談体制の充実【重点】	2	2	0	0	0
③障がいのある人への相談体制の充実【重点】	1	1	0	0	0
④心身・健康に関する相談体制の充実	1	1	0	0	0
⑤南文化センターにおける自立の支援	1	0	1	0	0
⑥民生委員・児童委員の周知啓発	1	0	1	0	0
⑦複合的な課題への対応【重点】	5	2	3	0	0
基本目標2 保健・福祉サービスの充実					
(1) 地域包括ケア体制の充実	1	0	1	0	0
①地域包括ケア体制の充実	1	0	1	0	0
(2) 保健・福祉サービスの充実	6	4	2	0	0
①高齢者福祉の充実	1	0	1	0	0
②子育て支援の充実	2	2	0	0	0
③障がい者福祉の充実	1	0	1	0	0
④健康づくりの支援	2	2	0	0	0
(3) 移動支援の充実	2	1	1	0	0
①外出・移動支援の充実	2	1	1	0	0
(4) サービスの評価と改善	8	1	5	1	1
①社会福祉法人に対する指導監査の充実	3	1	2	0	0
②サービス事業者の質の向上	2	0	2	0	0
③第三者評価事業の推進	3	0	1	1	1
基本目標3 防災・防犯の推進					
(1) 自主防災体制の充実	3	3	0	0	0
①防災に対する啓発活動	1	1	0	0	0
②地域ぐるみの防災訓練や防災講演会等の支援	1	1	0	0	0
③自主防災活動の担い手育成	1	1	0	0	0
(2) 避難行動要支援者の支援	2	2	0	0	0
①避難行動要支援者の把握	1	1	0	0	0
②避難行動要支援者の情報伝達・避難支援	1	1	0	0	0
(3) 防犯活動の充実	2	0	2	0	0
①防犯意識の向上	1	0	1	0	0
②自主防犯パトロールの支援	1	0	1	0	0
(4) 交通安全対策の充実	5	1	4	0	0
①交通安全教育の推進	1	0	1	0	0
②登下校における交通安全指導	2	1	1	0	0
③通学路の安全確保	1	0	1	0	0
④未就学児の集団で移動する経路の安全確保	1	0	1	0	0

- 基本方針Ⅲの「地域での安心」では、27 事業のうち、「A:計画どおり進行中」が 18 件、「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」が 21 件、「C:未着手」が 1 件、「D:廃止または完了」が 1 件でした。「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、27 事業すべてを実施しています。

<市社会福祉協議会>

基本方針・基本目標・取組施策	担当G	評価			
		A	B	C	D
基本方針Ⅲ 地域での安心 ～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくろう～	13	10	2	0	1
基本目標1 相談体制の充実					
(1) 相談体制の充実	2	1	0	0	1
①心配ごと相談窓口の開設【重点】	1	0	0	0	1
②法律相談窓口の開設【重点】	1	1	0	0	0
基本目標2 保健・福祉サービスの充実					
(2) 保健・福祉サービスの充実	5	3	2	0	0
①高齢者福祉・介護保険の利用推進	2	2	0	0	0
②子育て支援の充実	1	1	0	0	0
③障がい者福祉の充実	2	0	2	0	0
(3) 移動支援の充実	2	2	0	0	0
①車いすの貸出	1	1	0	0	0
②移動支援の充実	1	1	0	0	0
基本目標3 防災・防犯の推進					
(2) 避難行動要支援者の支援	4	4	0	0	0
①避難行動要支援者名簿作成支援・避難支援等体制づくりの支援	1	1	0	0	0
②地域防災訓練の支援	1	1	0	0	0
③災害支援ボランティアセンターの設置・運営	1	1	0	0	0
④防災ボランティアコーディネーター養成講座への支援	1	1	0	0	0

- 基本方針Ⅲの「地域での安心」では、11 事業のうち、「A:計画どおり進行中」が 10 件、「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」が 2 件、「C:未着手」が 0 件、「D:廃止または完了」が 1 件でした。「B:概ね計画どおりだが、一部未実施」も含め、11 事業のうち 10 事業を実施しています。

■事業の実施状況

<総括>

- こども・高齢者・障がいのある人をはじめ、老老介護やひきこもり等の複合的な課題を持つ地域住民に対し、各種窓口で必要な情報提供を行うとともに、各機関との連携強化を図り、気軽に相談ができる体制を整備する必要があります。
- 避難行動要支援者の対象者の把握に努め、市社会福祉協議会のほか、民生委員・児童委員、地域の自主防災組織、町内会等とも連携し支援体制の構築を図ります。また、各自主防災組織と協働して防災訓練の実施や、愛知県及び海部地区の市町村とも連携し、防災ボランティアコーディネーター養成講座を開催する等、地域全体で様々な取組を行っています。
- まちの安心・安全を守るため、防犯協会、コミュニティ推進協議会、津島みまもり隊等のボランティアや警察と連携し、自主防犯パトロールや見守り活動を支援しています。

第2章 津島市の現状

5 地域福祉に関する住民等の意向と課題

1 地域福祉に関するアンケート調査

- 地域福祉に関するアンケート調査の結果から、地域福祉における課題等を抽出するため、福祉に対する意識や満足度、重要度について整理しました。

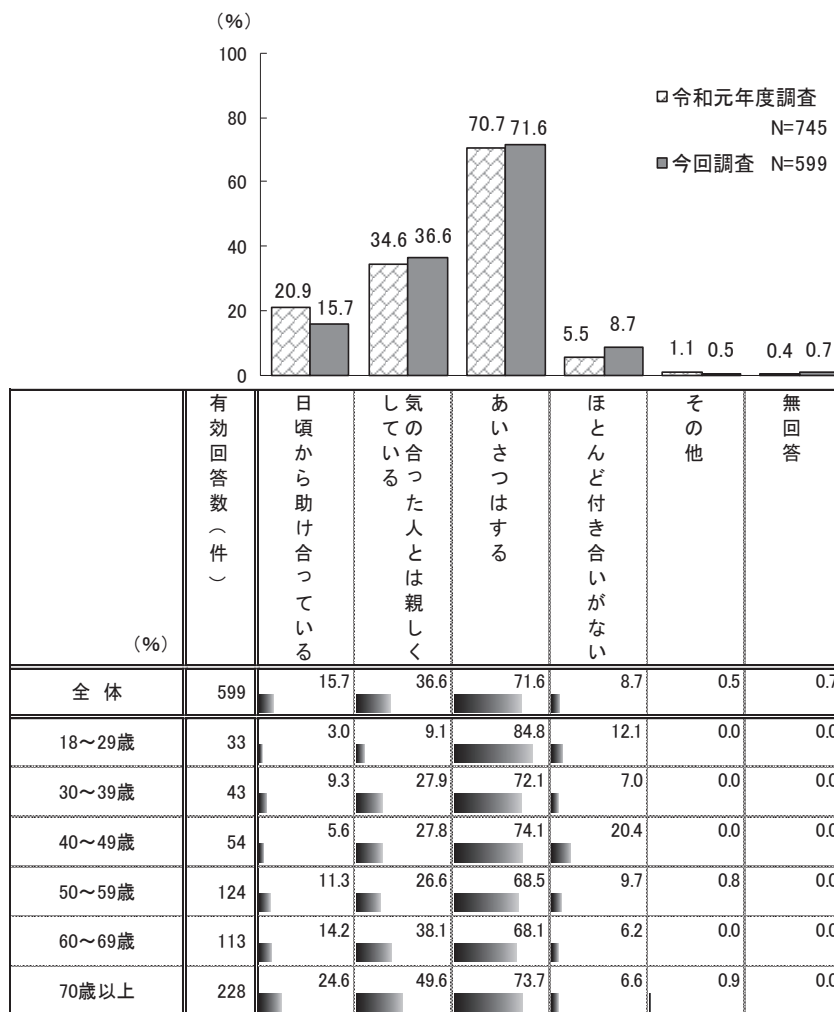
地域福祉えがおのまち計画策定のためのアンケート調査の概要

調査目的	福祉に対する意識や地域活動への参加状況等の意見・要望等を把握し、第3期津島市地域福祉えがおのまち計画の基礎資料とするため。
調査対象等	18歳以上の市民2,000人の無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和6年10月18日(金)～令和6年11月5日(火)
有効回収数 (有効回収率)	599人(29.9%)
調査結果の表示方法	(1) 図表中の「N」は回答者数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を示しています。 (2) グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問(1つの番号に○をつけるもの)であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合(あてはまるすべての番号に○をつけるものなど)は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。 (3) 年代別等で示しているグラフの「N」を合わせた数は、性別や年代等の無回答を除いた数であるため、全体の「N」と一致しません。 (4) 図表において、選択肢等の文字数が長い場合に簡略化している場合があります。

近所付き合い

- 近所付き合いについては、「あいさつはする」人が約7割を占めており、前回調査と大きな変化はありません。また、「日頃から助け合っている」人や「気の合った人とは親しくしている」人は、年代が上がるにつれ増加傾向にあります。
- 地域への参加状況については、町内会・自治会への加入者は40代以降で9割以上、コミュニティ推進協議会についても何らかの形での参加者は約4割となっています。

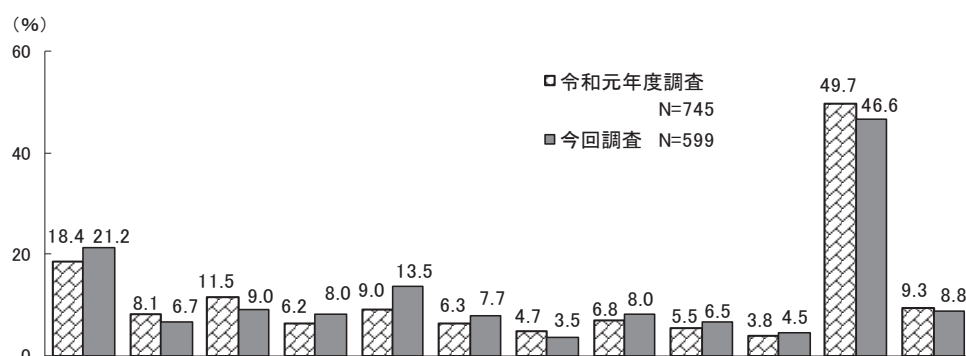
近所付き合い



現在必要な支援

- お住まいの地域でどのような支援が必要かについては、「特にない」が約半数を占めていましたが、必要な支援として最も高いのは「安否確認の声かけ」でした。以下、「ごみ出し」、「悩みごと・心配ごとの相談」の順で高くなっています。前回調査と比較すると、「ごみ出し」は4.5ポイント増加しています。年代別では、「安否確認の声かけ」、「悩みごと・心配ごとの相談」は70歳以上で最も高く、「ごみ出し」は18～29歳で最も高くなっています。「短時間のこどもの預かり」は、子育て世代の30代で最も高くなっています。

お住まいの地域で必要な支援

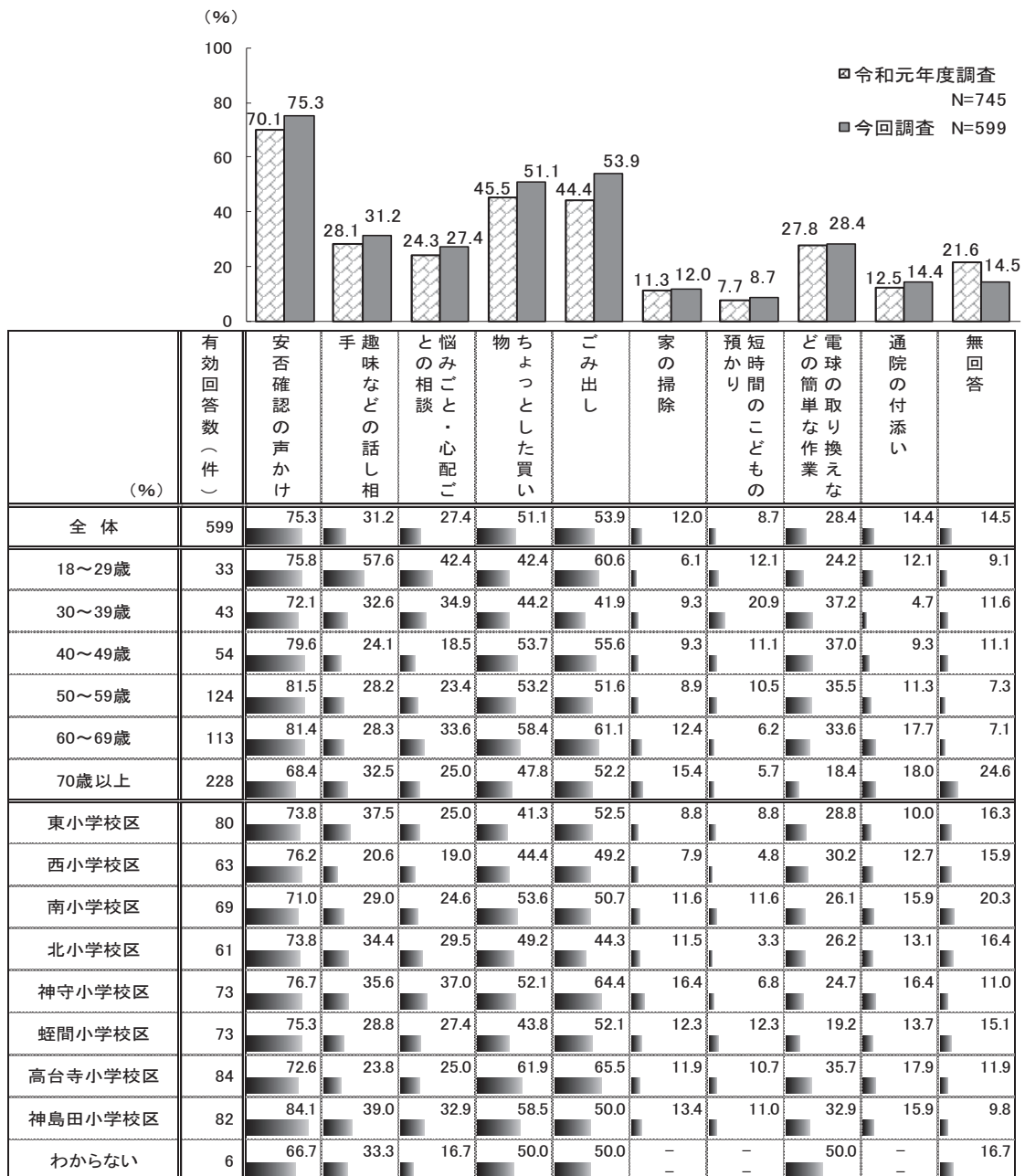


支援の種類	有効回答数(件)	安否確認の声かけ	手趣味などの話し相手	悩みごと・心配ごとの相談	ちょっとした買い物	ごみ出し	家の掃除	短時間のこどもの預かり	電球の簡単な作業など	通院の付添い	その他	特にない	無回答
全体	599	21.2	6.7	9.0	8.0	13.5	7.7	3.5	8.0	6.5	4.5	46.6	8.8
18～29歳	33	12.1	6.1	9.1	3.0	27.3	0.0	6.1	3.0	3.0	3.0	54.5	0.0
30～39歳	43	11.6	0.0	7.0	14.0	9.3	9.3	25.6	9.3	2.3	4.7	51.2	4.7
40～49歳	54	16.7	3.7	9.3	0.0	18.5	5.6	5.6	1.9	3.7	3.7	53.7	3.7
50～59歳	124	16.9	3.2	6.5	1.6	8.9	2.4	1.6	3.2	7.3	4.0	58.9	4.8
60～69歳	113	17.7	6.2	6.2	3.5	8.8	8.0	0.0	3.5	1.8	0.9	58.4	10.6
70歳以上	228	29.8	11.0	12.3	15.4	16.2	11.8	1.3	14.9	10.5	6.6	30.3	13.2
東小学校区	80	5.0	3.8	7.5	5.0	11.3	7.5	10.0	5.0	5.0	3.8	50.0	12.5
西小学校区	63	28.6	4.8	7.9	15.9	19.0	9.5	4.8	11.1	4.8	3.2	41.3	9.5
南小学校区	69	27.5	7.2	10.1	10.1	18.8	5.8	2.9	7.2	2.9	2.9	47.8	5.8
北小学校区	61	19.7	6.6	9.8	3.3	14.8	9.8	0.0	8.2	6.6	3.3	49.2	9.8
神守小学校区	73	24.7	16.4	17.8	11.0	12.3	13.7	4.1	15.1	12.3	8.2	31.5	8.2
蛭間小学校区	73	26.0	8.2	8.2	5.5	13.7	5.5	0.0	13.7	5.5	6.8	46.6	4.1
高台寺小学校区	84	16.7	3.6	7.1	3.6	8.3	3.6	3.6	2.4	7.1	2.4	58.3	11.9
神島田小学校区	82	25.6	4.9	3.7	12.2	13.4	8.5	2.4	4.9	7.3	3.7	45.1	8.5
わからない	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0

協力できること

- 近所に困っている人がいるとき、あなたが協力できることを聞いたところ、「安否確認の声かけ」は7割を超えて最も高く、以下「ごみ出し」、「ちょっとした買い物」、「趣味などの話し相手」となっています。前回調査と比較すると、「ごみ出し」は9.5ポイント増加しています。年代別では、「安否確認の声かけ」は特に50～60代で8割を超えて協力の意向が強くなっています。また、「趣味などの話し相手」は18～29歳が最も高く、6割弱の人が協力できると答えています。

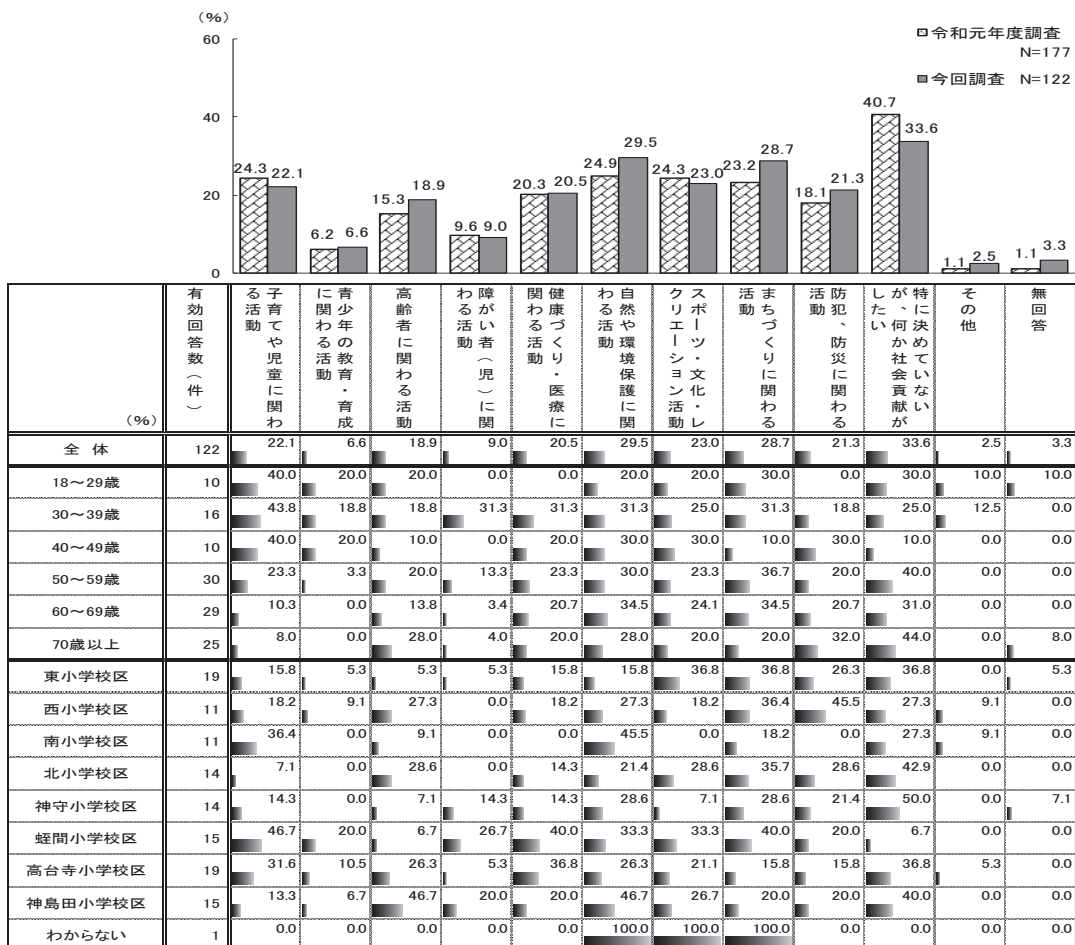
近所に困っている人がいるとき、あなたが協力できること



ボランティア活動

- 「団体に属して活動している人」、「個人で活動している人」、「現在は活動していないが、過去に活動したことがある人」を合わせた“ボランティア活動経験者”は約2割となっています。地区別では、東小学校区、南小学校区、神守小学校区、蛭間小学校区、高台寺小学校区がそれぞれ約2割となっています。
- “ボランティア活動経験者”の活動内容として「高齢者に関わる活動」が31.1%と最も高く、以下「子育てや児童に関わる活動」、「防犯、防災に関わる活動」となっています。
- ボランティアについて、「活動したことはないが、今後活動したい」と答えた人に今後どのようなボランティアに参加したいか聞いたところ、「特に決めていないが、何か社会貢献がしたい」が33.6%と最も高く、以下「自然や環境保護に関わる活動」、「まちづくりに関わる活動」、「スポーツ・文化・レクリエーション活動」となっています。前回調査と比較すると、「まちづくりに関わる活動」が5.5ポイント増加しています。「特に決めていないが、何か社会貢献がしたい」は7.1ポイント減少しています。

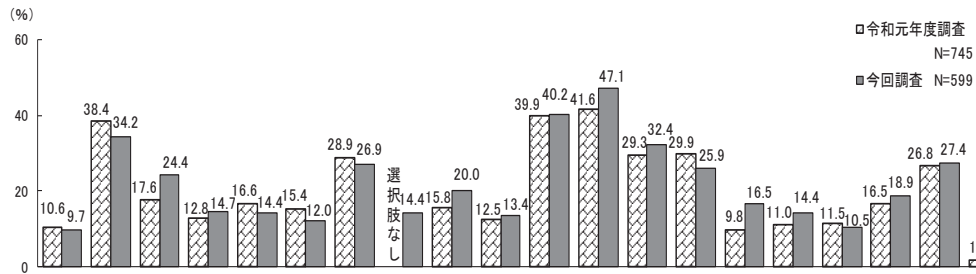
「活動したことはないが、今後活動したい」と答えた人の参加したい活動



地域の課題

- 地域の課題については、「老老介護」が47.1%と最も高く、以下「ひとり暮らし高齢者の生活支援」、「こどもの安心・安全の確保」となっています。
- 各年代で最も高いものは、50代、60代、70代では「老老介護」、18～29歳、30代では「こどもの安心・安全の確保」となっています。40代は「老老介護」と「こどもの安心・安全の確保」が同割合で高く、42.6%となっています。
- 各小学校区で最も高いものは東小学校区、西小学校区、南小学校区、神守小学校区、蛭間小学校区、高台寺小学校区、神島田小学校区で「老老介護」、北小学校区で「ひとり暮らし高齢者の生活支援」となっています。

地域の課題



	有効回答数(件)	乳幼児期の子育て	こどもの安心・安全の確保	共働き家庭の子どもの生活	ひとり親家庭※1	青少年の健全育成	ひきこもりへの対応	もの非行・不登校・子どもいじめ	ヤングケアラー※2	介護のための離職	介護と子育てに同時に直面すること	生活支援	ひとり暮らし高齢者の生活支援	老老介護	確保	高齢者の見守り体制	高齢者の社会参加や生きがいづくり	障がい者(児)への生活支援	障がい者(児)の社会参加や生きがいづくり	子どもや高齢者、障がい者等への虐待	地域予防	地域の健康づくり・介護	地域の支え合いの意識	その他	わからない	無回答
全体	599	9.7	34.2	24.4	14.7	14.4	12.0	26.9	14.4	20.0	13.4	40.2	47.1	32.4	25.9	16.5	14.4	10.5	18.9	27.4	1.5	10.5	4.5			
18～29歳	33	21.2	45.5	33.3	27.3	18.2	18.2	39.4	30.3	15.2	15.2	42.4	33.3	24.2	24.2	18.2	12.1	12.1	15.2	24.2	3.0	18.2	0.0			
30～39歳	43	30.2	48.8	53.5	16.3	14.0	11.6	34.9	20.9	14.0	25.6	32.6	37.2	9.3	18.6	25.6	20.9	20.9	16.3	18.6	7.0	9.3	0.0			
40～49歳	54	9.3	42.6	24.1	14.8	13.0	18.5	33.3	22.2	24.1	27.8	38.9	42.6	27.8	24.1	20.4	14.8	13.0	7.4	24.1	0.0	13.0	0.0			
50～59歳	124	11.3	32.3	20.2	13.7	12.1	8.9	19.4	14.5	27.4	14.5	37.9	49.2	29.0	19.4	17.7	15.3	16.9	16.9	27.4	1.6	13.7	0.0			
60～69歳	113	6.2	30.1	16.8	14.2	10.6	8.8	24.8	11.5	23.9	7.1	42.5	49.6	32.7	25.7	15.0	13.3	4.4	18.6	29.2	1.8	10.6	3.5			
70歳以上	228	4.8	31.6	23.2	13.2	17.1	12.7	26.8	9.6	14.9	9.6	41.7	49.6	40.8	31.1	13.6	13.2	7.5	23.2	29.4	0.4	7.5	10.1			
東小学校区	80	11.3	40.0	25.0	18.8	20.0	13.8	27.5	10.0	26.3	15.0	37.5	41.3	28.8	25.0	15.0	16.3	15.0	17.5	35.0	2.5	13.8	2.5			
西小学校区	63	9.5	41.3	23.8	12.7	9.5	11.1	27.0	14.3	19.0	15.9	38.1	44.4	36.5	20.6	15.9	9.5	11.1	15.9	19.0	0.0	15.9	3.2			
南小学校区	69	11.6	36.2	24.6	15.9	10.1	5.8	21.7	11.6	13.0	13.0	31.9	49.3	27.5	21.7	15.9	11.6	13.0	21.7	23.2	1.4	14.5	5.8			
北小学校区	61	11.5	36.1	27.9	18.0	8.2	14.8	21.3	16.4	19.7	8.2	52.5	44.3	37.7	31.1	14.8	13.1	11.5	23.0	32.8	1.6	6.6	9.8			
神守小学校区	73	8.2	31.5	27.4	15.1	17.8	16.4	32.9	8.2	21.9	11.0	50.7	56.2	39.7	23.3	23.3	19.2	8.2	19.2	26.0	2.7	9.6	4.1			
蛭間小学校区	73	5.5	27.4	21.9	5.5	19.2	12.3	27.4	17.8	24.7	17.8	42.5	53.4	35.6	23.3	13.7	11.0	5.5	20.5	31.5	0.0	6.8	4.1			
高台寺小学校区	84	9.5	31.0	21.4	13.1	13.1	10.7	20.2	19.0	20.2	14.3	35.7	40.5	27.4	32.1	16.7	21.4	7.1	15.5	21.4	0.0	7.1	6.0			
神島田小学校区	82	9.8	34.1	22.0	15.9	13.4	11.0	34.1	14.6	17.1	12.2	35.4	50.0	28.0	29.3	15.9	11.0	11.0	15.9	30.5	3.7	9.8	1.2			
わからない	6	16.7	50.0	16.7	33.3	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0			

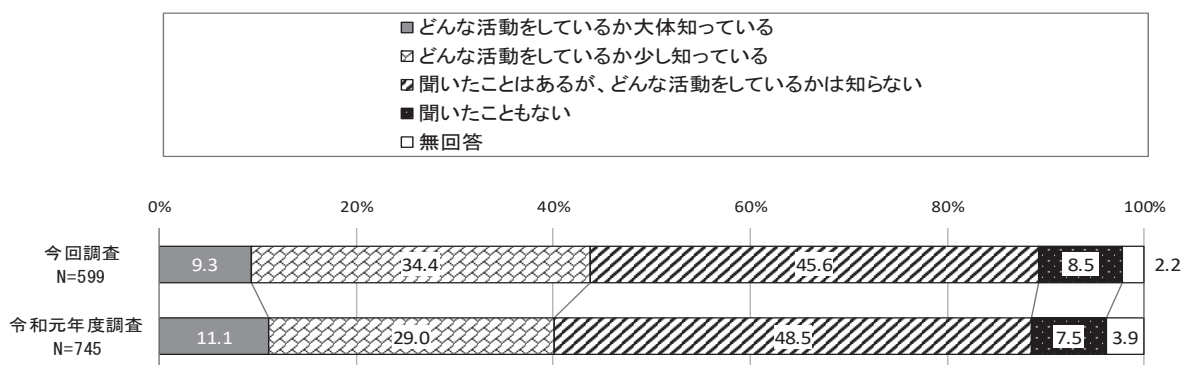
※1：「ひとり親家庭」は前回調査では「母子家庭や父子家庭の子育て」

※2：「ヤングケアラー」は前回調査では選択肢なし

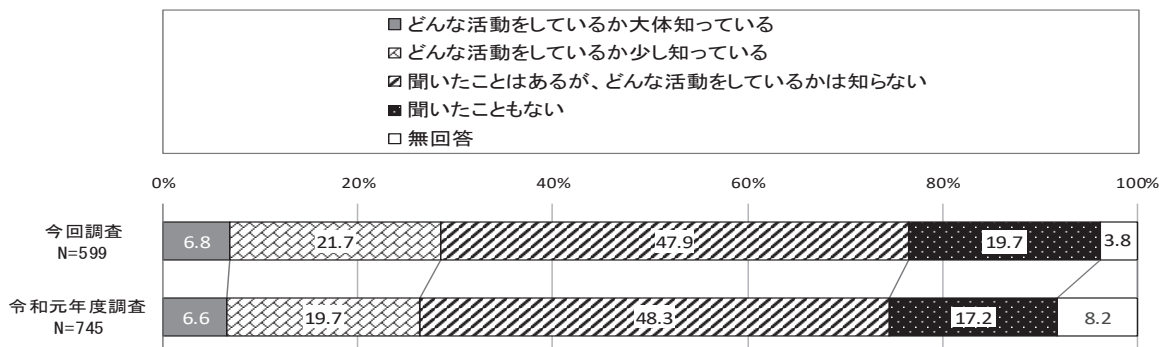
民生委員・児童委員、市社会福祉協議会について

- 民生委員・児童委員については、「どんな活動をしているか大体知っている」と「どんな活動をしているか少し知っている」を合わせた“活動について知っている人”は43.7%、「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない」が45.6%と高くなっています。前回調査と比較すると、活動内容を少し知っている人の割合がやや増加しています。年代別では、年齢に比例して“活動について知っている人”は増加する傾向がみられ、70歳以上では約6割を占めています。
- 市社会福祉協議会については、「どんな活動をしているか大体知っている」と「どんな活動をしているか少し知っている」を合わせた“活動について知っている人”は28.5%、「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない」が47.9%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、活動内容を知っている人の割合がやや増加しています。年代別では、年齢に比例して“活動について知っている人”は増加する傾向がみられ、60代、70代では約3割を占めています。

民生委員・児童委員についての認知度



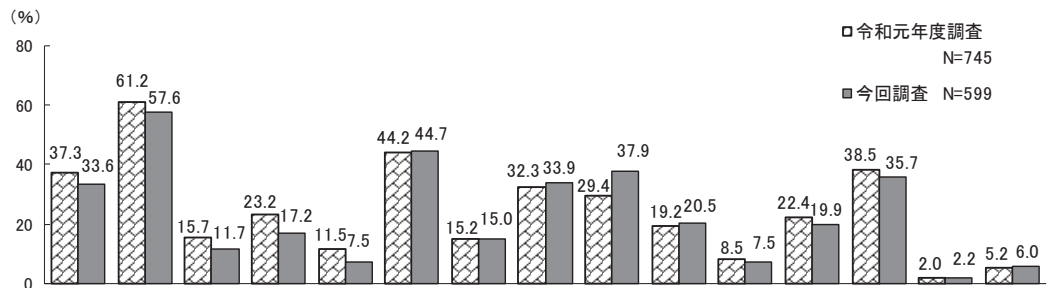
市社会福祉協議会についての認知度



市の福祉施策等について

- 市が力を入れて取り組むべきことは、「防災・防犯等の活動による安心安全なまちづくり」が57.6%と最も高く、以下「必要な福祉サービスの情報提供の充実」、「認知症の予防や認知症高齢者に対する医療・保健・福祉・介護の連携した支援」となっています。前回調査と比較すると、「認知症の予防や認知症高齢者に対する医療・保健・福祉・介護の連携した支援」が8.5ポイント増加しています。
- 数ある施策の中で「防災・防犯等の活動による安心安全なまちづくり」はすべての年代、小学校区で最も支持されています。

市が力を入れて取り組むべきこと

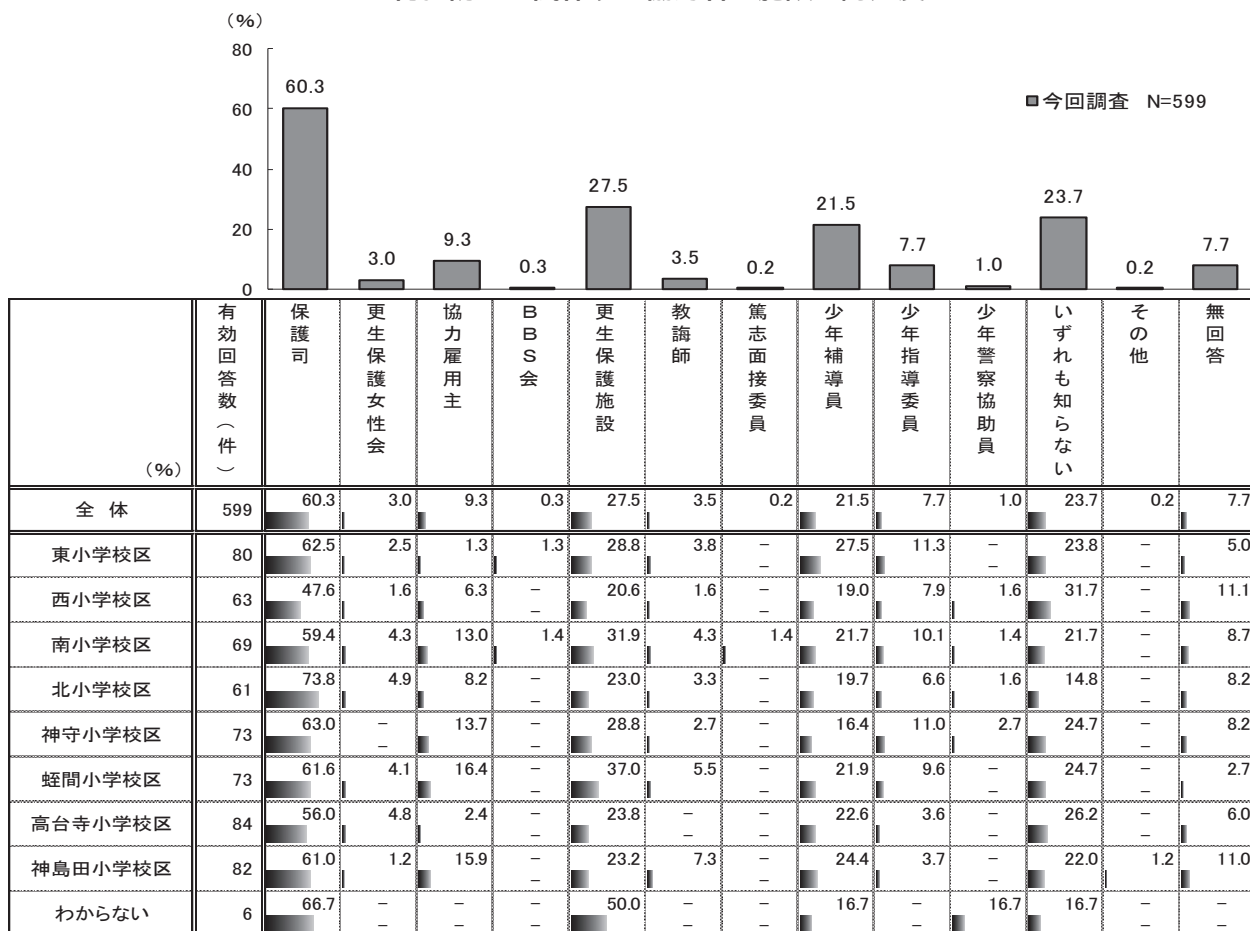


	有効回答数(件)	合域の充実	防災・防犯等の活動による安心安全なまちづくり	地域の活性化	地域活動・ボランティア活動の啓発	住民自身が地域の困りごとや課題を話し合う場づくり	住民自身の健康や福祉等様々な相談体制の充実	高齢者や障がい者(児)等の保健福祉サービスの充実	認知症の予防や認知症高齢者に対する医療・保健・福祉・介護の連携した支援	生活困窮者、社会的孤立状態にある人への支援の充実	権利擁護(成年後見制度)の利用に関する支援等	高齢者や障がい者(児)の子どもや高齢者、障がい者等への虐待防止と早期発見	実や公共交通等の移動支援の充実	その他	無回答	
全体	599	33.6	57.6	11.7	17.2	7.5	44.7	15.0	33.9	37.9	20.5	7.5	19.9	35.7	2.2	6.0
18~29歳	33	33.3	45.5	6.1	9.1	6.1	36.4	15.2	39.4	30.3	33.3	9.1	33.3	27.3	6.1	-
30~39歳	43	39.5	72.1	9.3	16.3	4.7	37.2	9.3	20.9	32.6	18.6	7.0	32.6	55.8	7.0	-
40~49歳	54	38.9	59.3	9.3	3.7	1.9	57.4	20.4	29.6	42.6	29.6	9.3	20.4	33.3	3.7	1.9
50~59歳	124	29.0	52.4	16.1	12.1	9.7	46.8	16.9	32.3	36.3	22.6	7.3	27.4	39.5	2.4	2.4
60~69歳	113	30.1	61.1	12.4	16.8	10.6	46.9	16.8	38.1	34.5	21.2	8.8	13.3	32.7	1.8	4.4
70歳以上	228	35.5	57.5	11.0	25.0	7.0	42.5	12.7	35.5	41.7	15.4	6.6	14.5	33.3	0.4	11.4
東小学校区	80	38.8	65.0	7.5	16.3	7.5	42.5	7.5	30.0	35.0	23.8	8.8	18.8	36.3	2.5	2.5
西小学校区	63	34.9	65.1	9.5	14.3	1.6	49.2	27.0	34.9	46.0	14.3	3.2	12.7	34.9	-	6.3
南小学校区	69	30.4	52.2	13.0	14.5	5.8	39.1	14.5	34.8	33.3	20.3	7.2	23.2	40.6	4.3	5.8
北小学校区	61	27.9	45.9	14.8	11.5	3.3	41.0	14.8	42.6	37.7	21.3	11.5	23.0	42.6	-	9.8
神守小学校区	73	37.0	58.9	12.3	26.0	11.0	49.3	15.1	31.5	45.2	17.8	6.8	20.5	28.8	-	8.2
蛭間小学校区	73	34.2	58.9	15.1	23.3	11.0	46.6	15.1	37.0	46.6	24.7	9.6	15.1	35.6	1.4	1.4
高台寺小学校区	84	32.1	54.8	10.7	15.5	7.1	51.2	15.5	35.7	35.7	17.9	8.3	17.9	33.3	2.4	8.3
神島田小学校区	82	31.7	58.5	13.4	18.3	12.2	40.2	14.6	28.0	30.5	23.2	6.1	26.8	37.8	3.7	4.9
わからない	6	50.0	66.7	-	-	-	33.3	-	-	16.7	33.3	-	16.7	33.3	-	-

再犯について

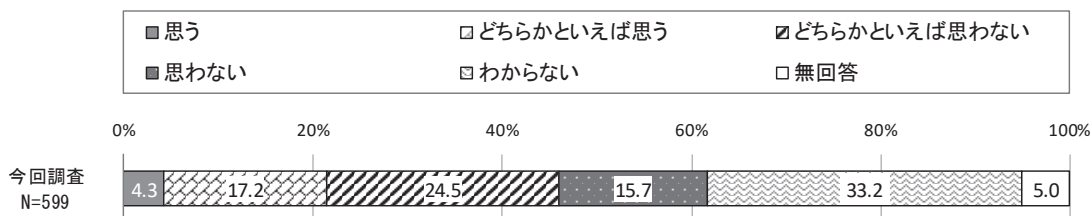
- 再犯防止に係る協力者・施設の認知度については、「保護司」が60.3%と最も高く、以下「更生保護施設」、「少年補導員」となっています。また、「いずれも知らない」は23.7%となっています。
- すべての小学校区で「保護司」の認知度が最も高くなっています。

再犯防止に係る協力者・施設の認知度



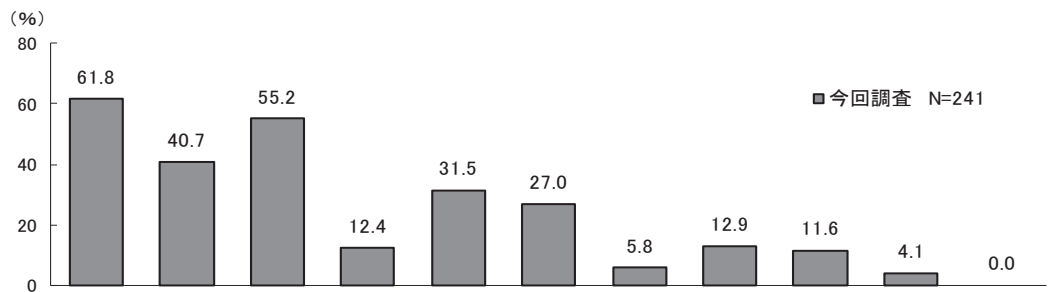
- 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思うかについては、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う人”は21.5%、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた“犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない人”は40.2%となっています。

犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う人



- 犯罪をした人の立ち直りへの協力について、「どちらかといえば思わない」と「思わない」と答えた人に理由を聞いたところ、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が 61.8%と最も高く、以下「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」、「犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」となっています。
- 各小学校区で最も高いものは東小学校区、西小学校区、南小学校区、神守小学校区、高台寺小学校区、神島田小学校区で「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」、北小学校区、蛭間小学校区で「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」となっています。

「犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない」と答えた人の理由



	有効回答数 (件)	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから	犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分自身にメリットがないから	具体的なイメージがわからないから	時間的余裕がないから	興味がないから	犯罪をした人への支援は国などが行うべきだから	犯罪をした人に支援などするべきではないから	その他	わからない
全体	241	61.8	40.7	55.2	12.4	31.5	27.0	5.8	12.9	11.6	4.1	0.0
東小学校区	44	68.2	43.2	45.5	25.0	25.0	25.0	11.4	11.4	22.7	2.3	0.0
西小学校区	30	76.7	50.0	60.0	3.3	20.0	33.3	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0
南小学校区	18	77.8	50.0	61.1	0.0	33.3	22.2	5.6	22.2	11.1	0.0	0.0
北小学校区	27	55.6	44.4	66.7	18.5	44.4	18.5	7.4	18.5	3.7	0.0	0.0
神守小学校区	31	64.5	48.4	51.6	3.2	35.5	25.8	0.0	12.9	9.7	3.2	0.0
蛭間小学校区	25	48.0	20.0	76.0	24.0	40.0	44.0	8.0	20.0	4.0	0.0	0.0
高台寺小学校区	26	53.8	30.8	42.3	3.8	23.1	26.9	3.8	7.7	11.5	3.8	0.0
神島田小学校区	35	54.3	40.0	51.4	11.4	37.1	22.9	8.6	14.3	20.0	14.3	0.0
わからない	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2 団体アンケート・ヒアリング

- 幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校や民生委員・児童委員、福祉関係事業者等に、前回の計画策定時に実施した調査で挙げられた地域福祉の課題が、この5年間でどのように変化したのかを、「①良くなった、②変わらない、③悪くなった、④わからない」の4段階で評価していただきました。
なお、いただいた意見は原則として原文のまま掲載しています。

団体アンケート・ヒアリングの概要

調査目的	地域福祉の担い手である各団体にヒアリングを行うことで、実情の把握と、地域福祉を進める上での課題等を整理するため。
調査対象団体	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・認定こども園 11校 ・小・中学校 12校（小学校：8校、中学校：4校） ・高齢者支援事業者 46人 ・民生委員・児童委員 117人 ・障がい福祉事業者 58人
調査方法	各団体によるヒアリングシートの回答
調査期間	令和6年10月18日（金）～令和6年11月5日（火）
調査結果の表示方法	評価の件数は、複数回答や無回答を含むため、全体の件数と一致しません。

1. 幼稚園・保育所・認定こども園

(1) 登園、降園の安全確保について

- 令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋
 - ・道路標示、横断歩道、用水路フェンス等の対策をしてほしい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	6件	・園前の道路舗装がされ、グリーンゾーン塗装、側溝（ふた付）も新しくなった。
②変わらない	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路のフェンスを新しくしてほしい。 ・道路にあるミラーをもう少し見やすいものにしてほしい。

(2) 降園後の居場所確保について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・公園等で子どもたちが外で遊べる環境づくり 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	2件	・天王川公園がリニューアルとなり、降園後に遊びに行く方も多くなったように思う。それにより人の数も多くなったことで、安全配慮にもつながっているように思う。
②変わらない	5件	・環境は変わっていない。
④わからない	4件	・平日の降園後は、ほぼ家庭で過ごしていると思う。

(3) 地域ぐるみの子育て支援について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・子育て中の母子が近所の人と気軽に交流できる場が少ない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	7件	・市の子育て支援事業等の配布物をよく園からいただき、保護者に周知できることが多いので、保護者の皆さんがどこで何の催しがあるのか分かりやすかったのではないかと思います。
②変わらない	2件	・集まる場がない。
④わからない	2件	・保護者から話を聞くこともあるが、それぞれ異なるので、全体的には把握が難しい。

(4) こども・子育て支援の仕組みづくりについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・特別支援児の早期発見・早期治療 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・療育支援事業や巡回型教育指導等が行われるようになり、保護者との連携支援に良い結果をもたらしてきていると思われる。
②変わらない	6件	・特別支援児の早期発見については継続して取り組んでいるが、保護者へ伝えることは難しい。
④わからない	1件	※意見なし

(5) 障がい者への支援体制について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・障がい児の保育受入に関する職員配置に進展がない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	1件	・職員配置を充実させ、個別対応の時間が充分確保できた。人件費のさらなる充実をお願いしたい。
②変わらない	9件	・障がい児に対する職員体制は変わらない。
③悪くなった	1件	・加配基準を緩和してもらわないと困る。外国人も加配が必要な場合がある。

(6) 外国籍市民への理解促進と多文化共生の推進について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・うまく伝わらないことが多く、書類など書き直しが多い 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
②変わらない	6件	・園に子育て相談、入園相談に来園された時に、その国の言葉がわかる通訳のできる人を市で派遣していただけるとありがたい。
③悪くなった	3件	・以前よりも外国籍の子が増えたので、保護者対応の中でも伝達に困難の方が増えた。初めて対応する国の方も増えた。
④わからない	2件	・当園に通園しているお子さんや保護者の方については安定してきているため。

(7) 災害や犯罪に強い安心安全な環境づくりについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・多数の園児を連れての避難は難しい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	3件	・防災や不審者（犯罪）に対する計画の見直しを図った。 ・安全計画（児童福祉施設）の策定が義務付けられた。
②変わらない	8件	・園での避難確保計画は整っているが、市の連携訓練がないので実際どのように動くか不安がある。

2. 小・中学校

(1) 福祉教育の充実について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・福祉実践教室以外では、福祉施設と交流する機会がない

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	3件	・毎年、1つの学年が総合学習として福祉教育に取り組んでいる。 ・実践教室以外にも、講師を招いて話を聞く機会も設けている。
②変わらない	7件	・福祉実践教室以外で特に大きな取組がない。
④わからない	2件	※意見なし

(2) 登下校の安全確保について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・登下校時の通学路を高速で通っていく車が多い等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・危険な場所の対応をよく聞いてもらっている。
②変わらない	7件	・車が多くなり、安心して歩ける道が減っている。 ・見守り隊の皆さんが毎日安全確保に心がけてくださっている。
④わからない	1件	・通学路について、信号のない横断歩道を渡ることになった。以前の路肩を歩く場合と比べてどちらが安全か地域も学校も悩んでいるから。

(3) 放課後の居場所確保について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・ボールを使った遊びができる広い場所がない等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	2件	・放課後こども教室における諸行事の取組が充実している。
②変わらない	7件	・地域での遊び場が少なく、駐車場等で遊んでいる児童も見られる。地域の中で安心安全な遊び場が確保できるとよい。
③悪くなった	1件	・ますますこどもたちが遊べる場所が減ったり、遊びが制限されたりするようになった。
④わからない	2件	・わかりませんが、5年前のアンケートの内容は現在でも感じる。

(4) 地域ぐるみの子育て支援について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・子ども会が解散等することで、地域との結びつきが弱くなっている 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	1件	・コミュニティが積極的に支援くださっている。
②変わらない	8件	・子ども会がなくなり、家庭と地域との結びつきが弱くなっていると感じている。 ・同じ通学団でも保護者同士の面識がないことが多い。
③悪くなった	1件	・子ども会の解散が増えている。
④わからない	2件	・良いところも困っているところもある。

(5) 学校教育施設の人材強化・学校施設の改善について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・学校施設のバリアフリー化が進んでいない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	2件	・修繕費が増額されたため。
②変わらない	10件	・施設面では急を要する修繕等に対応いただいている。
③悪くなった	1件	・切実な問題と学校は捉えています。特別な支援を要する生徒が増加しているのに、支援員確保のための予算がない。学校施設が整えられない。現場の大変さをもっとわかってほしい。

(6) 障がい者・保護者への支援体制の強化について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・教員も保護者も、相談窓口がもっと多く必要だと感じる 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	6件	・市の特別支援教育相談員が増え、就学相談や教育相談への対応がしやすくなり、助かっている。
②変わらない	4件	※意見なし
④わからない	2件	※意見なし

(7) 外国籍市民への理解促進と多文化共生の推進について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・語学相談員の来校回数を増やしてほしい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・市雇用の先生が毎週1回来て教えてくださり、大変助かる。
②変わらない	8件	・外国籍の児童が増え、言葉の問題で保護者との意思疎通が十分にできない家庭がある。日本語指導教員の巡回を増やしてほしい。

(8) 災害や犯罪に強い安心安全な環境づくりについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・学校の校舎に柵のない場所があるため防犯対策としては安心できない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	5件	・防犯カメラを設置していただき、大変ありがたい。
②変わらない	7件	・学校の安全管理体制には不安だらけである。5年前と変わらない柵の問題。外部からの侵入は容易。実際に突然職員室に来訪者が現れる。門扉の鍵管理も難しい。（リモートでできれば） ・災害時避難所として受け入れるだけの防災グッズが整っているのか。

(9) ヤングケアラーの現状と課題について

件数	評価の理由（主な意見）
0件	※意見なし

3. 高齢者支援事業者

(1) 情報提供と収集について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・本人が無関心な場合は情報が伝わっているかどうかわかりにくい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
②変わらない	10件	・独居高齢者に対する支援は対象者へ情報が届きやすい仕組みができてきているが、高齢者世帯や日中独居に対する支援や情報が少ないように感じる。
④わからない	8件	・訪問介護の利用者以外の地域の状況や家庭環境の把握はできていないため。

(2) 移動手段の確保、経費の支援について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・移動手段がない方の支援がほしい（買い物・通院等） 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	6件	・市のおでかけタクシーを利用されている方が増えた。
②変わらない	8件	・おでかけタクシーがあるが、もう少し範囲が広くなるとよい。また、タクシーがつかまりにくい。距離が近いと頼みにくい。
④わからない	4件	・タクシーの補助がでるようになり、助かっている人はいるが、タクシーそのものが不足しており、依頼しても断られるため結局利用できない。

(3) 地域における交流、支援体制の整備について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・介護サービスを増やしたいと希望する人がいるが限度額等の理由で利用できない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
②変わらない	13件	・インターネットが扱えない高齢者の買い物に、移動スーパーがあると交流の機会にもなる。（宅配サービスもネット注文となっているため）
③悪くなった	1件	・家事サポとヘルパーさんの使い分けが難しい。（混同する） ・支援2の人がデイサービスを1回しか利用しないのに2回分の金額が発生してしまう。

評価	件数	評価の理由（主な意見）
④わからない	4件	・介護サービスの適正利用を行っていても、身体状況により限度額を超えてしまうケースが多い。医療系サービスを断念することにつながっており、健康管理に不安を抱えている高齢者は増えていると思う。

（４）高齢者支援制度・サービスの改善と充実について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・障がいからの切り替わりで、介護保険だと利用ができない等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	1件	・以前よりは高齢者目線の施策が増えている。
②変わらない	11件	・介護保険以外のインフォーマルサービスが限られている。 ・通院・外出等ボランティアがなく自己負担になってしまう。
④わからない	5件	・インフォーマルサービスの認知度が低い。高齢者自身で選択・利用につながることはほぼないと思う。

（５）高齢者支援施設の拡充について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・職員の人件費も上がっており、さらに人材確保が難しい等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
②変わらない	8件	・人材確保は大変難しい。
③悪くなった	7件	・施設スタッフの入れ替わりが激しく、人材確保が難しい状況は続いている。
④わからない	2件	・民間の高齢者向け住宅は増えてきている。入居者の満足度が不明。 ・良い人材確保のため介護事業者の給与を一般企業よりUPする。

(6) 障がい者への支援体制の強化について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・高齢者支援のなかで、家族に障がいを持つ方がいる場合の障がい部門との連携の体制整備

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	1件	・地域包括支援センターや基幹相談支援センターなど。
②変わらない	6件	・ケアマネジャーに障がい部門をと言われるが、制度の理解が難しく専門職担当の方が利用者には安心できる。
④わからない	11件	・障がい者向けの住宅（グループホーム）は増えてきていると感じます。市内で見かけるので。

(7) わかりやすい福祉情報の提供と相談・支援体制の充実について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・広報紙以外の情報発信手段の拡充（SNS や LINE 等）

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・お年寄りには難しいが若者には活用できる。
②変わらない	7件	・現状は困りごとが発生しないと相談されないと思うので、地域活動にも幅広く参加して発信の機会を増やすと良い。
④わからない	6件	・あんしんネットつしまが主催する講演に参加している。

4. 民生委員・児童委員

(1) 世代や居住歴をこえた顔の見える関係づくりについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・高齢者が多くなり、地域活動が運営しづらくなってきている 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・各地域でイベントが盛んになった印象。いろいろな人を巻き込んで続けていくことで、人手も増えていくと思う。関わってくれる人も。
②変わらない	44件	・地域のコミュニティイベントは参加される方たちにより変化がない。
③悪くなった	24件	・地域におけるイベント等がなくなり（例 子ども会の消滅）、交流する機会が減少し、特に年代を超えた交流が少なくなった。
④わからない	13件	・プライバシーの保護が優先され、情報があまりなく、高齢者・障がい者等ほとんど外出されないため、顔の見える関係づくりの機会に乏しい。

(2) 高齢者の生活支援と生活の質の向上について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・サロンやコミュニティの場は増えたが、そこへ行くための手段がない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・全体的には変わらないが、ひとり暮らし高齢者で引きこもりの方がいたが、家族との連絡が取れるようになった。
②変わらない	50件	・コミュニティの会場に行きにくい。
③悪くなった	9件	・施設での行事やイベントではなく、自然に生活する中での質の向上はみられない。
④わからない	19件	・免許返納をする人たちも増え、そこへ行く手段もなく、イベントへの参加も諦めてしまうケースもよく聞かれる。

(3) 地域ぐるみでこどもを見守り育てる体制づくりについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・子ども会と町内会との接点が希薄、子ども会がなくなってこどもたちの様子がわからない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	6件	・こどもを見守る人々が増えていて良いと思う。
②変わらない	39件	・子ども会がなくなって、こどもたちの様子がわからない。
③悪くなった	16件	・子ども会がなくなり、町内会自体の活動にも住民が消極的。
④わからない	23件	・こどもに会う機会がなく、把握できていない。

(4) 障がい者サポートと生活支援について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・障がい者・児の情報があまりなく、また家族との関係性を作るのが難しい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	3件	・障がい者の権利が手厚くなった。障がい者と健常者は同じである、助け合うのが当然である教育が高まったから。
②変わらない	41件	・障がい者・児のデリケートな情報は家族内でとどまってしまうことが多い。
③悪くなった	1件	・生活でいっぱい、個人責任だと考えている人が多いのでは。 ・高齢者が多く、体力的に無理だと思う。
④わからない	37件	・障がい者のいる家庭を把握しているが、どこまで家庭内に入っているのかわからない。

(5) 防災の取組について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・町内としての防災体制は、ほとんど構築されていない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	11件	・各家庭や地域住民の意識は多少ずつ高くなってきてはいる。
②変わらない	50件	・防災訓練の参加者が少ない。
③悪くなった	5件	・町内として防災訓練そのものがない。 ・緊急時の非常連絡網が作られていない。
④わからない	13件	・誰もがわかるような避難行動の仕方について徹底されていないし、自分の立ち位置もよくわかっていない。

(6) 空き家、ゴミ対策について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・空き地や県道市道へのごみの不法投棄が多い 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	9件	・公園まわりのゴミ対策はよくなっていると感じる。
②変わらない	43件	・近所の様子にあまり変化が見られない。
③悪くなった	20件	・空き家の増加。道路に面した集積所への不法投棄の増加。
④わからない	11件	・空き家が増えるのは仕方がないと思う。ただ、他市町村から移ってくる人も増えないので、選ばれる町になるといいのだが。

(7) 民生委員・児童委員の権限と活動について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・コミュニティとの関わりが少ない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	10件	・コミュニティの活動が多くなっています。その活動の中で町内の方々の顔がみられて、情報交換の場ともなっている。
②変わらない	51件	・独居の人が増加しており、今後に対応が必要。
③悪くなった	5件	・民生委員・児童委員のなり手がなく困っている地域が増えつつある。
④わからない	16件	・高齢者の方々は民生委員の活動等を理解されているようですが、20代～50代の方は、あまり知られていない。このままでは次期の担い手が見つかるかとても心配。

5. 障がい福祉事業者

(1) 新たなサービスを行う上での問題点や課題について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・重度障がい者を受け入れる生活介護事業所が少ない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
②変わらない	12件	・現在、障がい福祉は人材不足でありながら、有資格者や経験のある人材を確保することが難しい。それにより受け入れにも影響がきていると考える。
③悪くなった	2件	・福祉活動が事業化になってきたように思う。
④わからない	9件	・現在あまり接点がないため、変化に気付けていない。

(2) 市において不足しているサービスについて

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・就労継続支援A型や就労移行支援事業所が少ない 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	1件	・相談員さんの力も借りて、サービスの利用ができています。
②変わらない	5件	・今回の報酬改定でA型事業所の運営が厳しくなったが、令和元年度よりもA型事業所の数は今後減少すると思う。
③悪くなった	7件	・A型事業所の存続が難しくなっているため、A型事業所は減っている。 ・移行支援事業は、短期間で就労に結び付ける人の利用になってくるので、利用しにくい面もある。
④わからない	10件	・利用希望者は多いが、職員確保が困難なため、これ以上施設を増やすことができない。金銭的支援がないことも原因の一つ。

(3) 地域移行、一般就労移行について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・入所施設からの地域移行の拡大は家族の意向もあり、円滑に進んでいるとは言い難い 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	2件	・市に基幹相談支援センターが開設されたことで、今後もどんどん良くなっていくと思う。
②変わらない	9件	・企業側の採用条件だけでなく、企業体力等含めて考えると以前と変わらない印象。

評価	件数	評価の理由（主な意見）
③悪くなった	1件	・利用者より事業所が主体となってきている。
④わからない	10件	・市は企業が少ないので、障がい者の手帳枠での就職も限られる。

（４）他の団体との連携について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・事業所が特別支援学校や特別支援学級と連携強化したい 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	5件	・生活支援部会で地域連携推進会議の勉強会も増えたことで、グループホーム同士が会う機会が多くなった。
②変わらない	6件	・部会や支援会議などがあるが、事業所同士の連携や交流の少なさは変わっていない。
③悪くなった	2件	・連携の必要性は理解できるのですが、「何を」という連携するための目的が不明確な印象を持っている。
④わからない	10件	・事業所同士の連携・交流に関して、それぞれの事業所のやり方、待遇等も違うので、交流はやりにくい。 ・支援者が少ないと交流の時間が取りにくい。

（５）障がい者を取り巻く地域社会のあり方について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・障がい者が安心して住める地域づくりを行政、民間が一つになって進める 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	4件	・令和6年度に津島市基幹相談支援センターが設置され、地域住民等からの相談が増えてきていると聞いている。
②変わらない	8件	・現状あまり変化を感じないが、地域連携推進会議の運営を通じ、事業者として地域に積極的に情報発信すべき。
③悪くなった	2件	・物価高騰生活のしづらさはきつくなりました。 ・便利な世の中になり、人とのつながりがさらに希薄になったと思う。
④わからない	9件	・活躍できる場の確認ができたり、機会があれば良いが、そういった場を自分は把握できていない。

(6) 市の福祉施策に関する要望について

■令和元年度に実施したアンケートでの意見（問題点・困りごと）の抜粋

- ・現在利用している事業所を辞めて、他の事業所を利用したいが、定員の問題で断られた 等

■令和元年度に挙げられた地域福祉の課題に対する令和6年度での評価

評価	件数	評価の理由（主な意見）
①良くなった	3件	・移動支援がとても使い勝手が良くなった。
②変わらない	7件	・福祉施設の整備等考えると、報酬改定による締め付けもあるが充実しているとは言いがたい。
③悪くなった	2件	・地域によって支援の質の差がより大きくなった気がする。 ・A型事業所が減少するのに対しすぐ動く方と違う方で対応がまちまち。
④わからない	10件	・行政主体のルールに従っているため、非常に不便。

(7) 市の福祉施策に関する問題点や要望について

件数	評価の理由（主な意見）
11件	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等給付費が少ないため、職員を最低賃金で雇うことが困難。物価高騰により、良いサービスを提供・維持することが難しい。 ・地域で生きていきたいと思う当事者は多々いても、支援者との相性、支援者のやり方などで左右されることが大きいので、支援者の研修が大事だと思う。 ・福祉を勉強して、当事者に寄り添った支援ができる人材を増やすことも大事だと思う。

3 地区懇談会

- 地域福祉に関わる現状と悩みや困りごとを把握するため、令和6年2月から令和7年6月にかけて8小学校区で地区懇談会を開催しました。
なお、いただいた意見は原則として原文のまま掲載しています。

地区懇談会の実施概要

回数（時期）	テーマ・内容
第1回 （令和6年2～6月）	ガイダンス、地域福祉の問題点の検討 ・趣旨及び概要説明 ・前回策定時で課題や問題であったことの現状の確認 ・意見交換「各小学校区における地域福祉の悩みや困りごと、問題点」 ・意見交換「課題に対する取組アイデア」
第2回 （令和6年11～12月）	地区の未来のあるべき姿の検討 ・趣旨及び概要説明 ・意見交換「地区の未来のあるべき姿、取組のアイデアの検討」
第3回 （令和7年1～6月）	地域主体の地域福祉活動のアイデア検討 ・意見交換「やってみたい取組の検討（①誰が②ターゲットは誰か③どのように④支援者・協力者は誰か⑤いつまでに）」

各小学校区での開催日時

小学校区	第1回	第2回	第3回
東小学校区	令和6年 2月20日（火）	令和6年 12月10日（火）	令和7年 3月11日（火）
西小学校区	3月7日（木）	12月6日（金）	2月7日（金）
南小学校区	2月14日（水）	11月13日（水）	3月12日（水）
北小学校区	2月19日（月）	11月18日（月）	1月20日（月）
神守小学校区	3月9日（土）	12月14日（土）	2月8日（土）
蛭間小学校区	2月25日（日）	12月15日（日）	2月9日（日）
高台寺小学校区	6月29日（土）	令和7年 6月28日（土）	
神島田小学校区	2月19日（月）	11月25日（月）	2月7日（金）

(1) 地域のつながり・コミュニケーションについて

テーマ	意見
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・新加入住民（若い人）は働いていて交流が少ない。情報が無い。 ・地域によって関わりに差がある。 ・町内の関係が薄い。 ・町内役員と住民のつながりが希薄化している。
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で班の役を受けてくれる人がいない。 ・行事だけでなく町内会に入らない人が多い。（町費を払わない、入らなくていいという認識） ・班同士のコミュニケーションがない。
高齢者の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で、繋がりはあるけど集まれない。
ゴミのマナーと 外国籍市民との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ捨てるのマナーが悪い。ゴミが放置されているので、カラスが多い。 ・外国の人は言葉の壁もありマナーが悪い人もいる。（ルールを知らない人もいる） ・ゴミ出しについて外国の方への案内が難しい。 ・マナーを教えたくても言葉が通じない。
交流の場、 お祭り、イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・町内役員、民生、コミュニティをまとめる団体や場がない。 ・お祭りはあるが参加する若い人は少ない。 ・地域行事に参加した経験がない。周知不足または参加者の意欲がないのか。もっと働きかけてもいいのではないかと。 ・盆踊りや香典がなくなった。

(2) 地域活動について

テーマ	意見
個人情報	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の個人情報、入所、出産等、知らないことが多い。隠される。 ・昔からいる方はわかるが、新しい住民さんのことがわからない。
なり手・担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足。参画の意識が低い。 ・働いている人は昼間の参加が難しい。 ・PTA、町内会への参加者が少ない。 ・役員のなり手がいない。

(3) 高齢者・障がいのある人について

テーマ	意見
交通	<ul style="list-style-type: none">・金銭面でタクシーが利用しにくい。・運転できなくなったあとの移動手段が課題。・コミュニティバスの本数が少なく移動しづらい。・外出手段が少ない。・公共交通機関が使いづらい。(時間帯が悪い)
災害・防災	<ul style="list-style-type: none">・発災時に必要な援助がしっかり届かない状況。・個人情報には難しいが、住宅地図の要援護者宅に色を付けるなど、名前の出ない方法で共有してはどうか。・知るべき要支援者の情報が開示されていない。

(4) こどもについて

テーマ	意見
少子化・子ども会	<ul style="list-style-type: none">・こどもが少なく、子ども会を廃止した。・子ども会を通じて地域の交流をしていた。少子化で交流が少なくなった。
お祭り・遊びの場	<ul style="list-style-type: none">・外で遊ぶこどもを見ない。・こどもの遊びの自由さがなくなっている。・盆踊りなどイベントに子ども会の協力を得られない。

(5) 地域の安心・安全について

テーマ	意見
災害・防災	<ul style="list-style-type: none">・断水は1週間以上のこともある。井戸水のマッピングがあるとよい。ただし井戸水は生活用のみ。飲料は不可。・町内会で2名程度防災リーダーがいるといい。・担い手となる若い世代の参加が課題。・小さい区分(町内単位)で災害時の行動を考えるべき。・防災担当の参加、なり手が少ない。

(6) その他

テーマ	意見
公共の整備	<ul style="list-style-type: none">・道路が悪い。(直してもすぐ悪くなる、歩道も狭く、足が悪いと危ない)・下水道の整備が進んで水路が使いにくくなった。・整備不良で、橋の道が狭くなっている。・注意喚起の標識があればいい。・永和駅に行く道が危ない。・コミュニティセンター(コミュニティ施設)に駐車場がない。
空き家	<ul style="list-style-type: none">・空き家について町内会長が把握して管理している。・空き家がさらに増えている。・持ち主がわからない空き家は雑草などが多い。火事が怖い。(持ち主がある所は定期的に草取り)・更地、空き家が増えている。

第2章 津島市の現状

6 各調査から見る津島市の課題

- 第2期の津島市地域福祉えがおのまち計画では、「地域での理解」、「地域での共生」、「地域での安心」を3つの基本方針にして、施策を進めてきました。そのため、基本方針ごとに現状と課題を把握し、今後の取組に反映していきます。

1 地域での理解

(1) 地域福祉の理解について

■現状や課題

- ・地域で支え合う意識を啓発するために、広報紙、ホームページ、SNS など様々な媒体や市社会福祉協議会の活動を通して啓発を進めてきました。
- ・市民アンケート調査では、市が力を入れて取り組むべきことに対して「地域で支え合い助け合う地域福祉の啓発」は、17.2%と2割弱の人は市が力を入れるべきと考えています。年代別では70代以上が高く、40代、10代～20代が全体から見て低い状況でした。小学校区別では神守地区、蛭間地区が高く、地域で支え合う意識の強さがうかがえます。地域福祉の意識はこのように年代・地区で違いがみられますが、今後も地域での支え合いを進めるためにも、地域福祉の理解を深める周知・啓発が必要となります。

→市の広報紙や市社会福祉協議会の「ふくしだより」、SNS など継続した周知啓発

→若者、働く世代等を含めた全市民に対するさらなる周知啓発

(2) 支え合う意識について

■現状や課題

- ・地区懇談会では、少子高齢化を背景として、地域の関わりが減ってきていることや町内役員の担い手がいないなど様々な地域コミュニティの課題が話し合われました。
- ・市民アンケート調査では、市民が「協力できること」については、安否確認の声かけが75.3%と最も高く、ごみ出しやちょっとした買い物も50%を超えています。何らかのボランティア活動経験者は約2割にとどまっているため、活動していないが自分は協力できるという人の掘り起こしが課題といえます。地域コミュニティの課題の一つは人材不足であるため、地域の協力者を増やすため、様々な場面で、気軽に参加できるようなきっかけづくりが必要となります。

→地域で活動していない人を活動につなげるきっかけづくり

(3) わかりやすい福祉情報について

■現状や課題

- ・福祉情報を必要としている人が、必要な時にすぐ利用できるような情報提供が必要となります。
- ・団体アンケート調査の中の高齢者支援事業者への調査では、広報紙以外の情報手段の拡充（SNS や LINE 等）が課題とされていましたが、評価は「変わらない」「わからない」という意見もある中、「良くなった」という意見もみられました。
- ・市や市社会福祉協議会では、SNS での周知を課題にしており、ホームページやふくしだよりに加えて、Instagram を活用する等幅広い世代に対する工夫をしてきました。

→市と市社会福祉協議会による幅広い年代に向けた周知啓発の充実

2 地域での共生

(1) 地域活動の支援・活性化について

■現状や課題

- ・市では、8つの小学校区ごとに設立された地区社会福祉協議会において、地域の様々な団体や個人が協力し合いながら、「自分たちのまちは自分たちで良くしていこう」という共通の目的のもとに多様な活動を進めています。
- ・コミュニティ推進協議会等の情報提供については、コミュニティ推進協議会が管理する SNS 等の支援をするほか、市が管理するホームページ・Facebook や市民活動情報誌「つし丸カフェ」で情報発信をしています。わかりやすい情報を広く届けることが課題となっています。

→小学校区における主体的な活動支援

→地域活動に関する周知・啓発の工夫

(2) 地域の担い手づくりについて

■現状や課題

- ・地区懇談会では、地域活動の担い手不足で班の役を受けてくれる人がいない等の課題があがっています。
- ・人口の推移をみると、総人口は減少しつつあり、65歳以上が占める割合を示す高齢化率は、令和7年に30.0%となっています。
- ・市社会福祉協議会のボランティア登録者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時減少したものの、現在は新型コロナウイルス感染症の流行前に戻りつつあります。

→既存の参加者に加えて、新しい参加者を増やす取組

(3) 地域の交流、居場所づくりについて

■現状や課題

- ・老人クラブは、高齢者の生きがいづくりにも貢献する組織ですが、令和3年4月には57団体ありましたが、令和7年4月には47団体へと減少しています。老人クラブの減少とともに会員数も減少しています。
- ・地域行事の減少や子ども会の解散など、こどもがますます地域活動の経験が少なくなっているため、地区懇談会では、こどもに対する地域の交流や居場所づくりのために、何ができるかが主要な課題となっていました。
- ・市では、高齢者の通いの場の活動支援、子育てに関する交流の支援、あいさつ運動等、各担当課が交流支援を行っています。また、市社会福祉協議会ではふれあいサロン等の立ち上げ支援、高齢者の交流支援、未就学児向けサロンの開催支援を行っています。

→地域のこどもから高齢者まで全世代の地域参加と居場所づくり支援

3 地域での安心

(1) 地域の相談体制の充実について

■現状や課題

- ・市民アンケート調査では、地域の課題として、「老老介護」、「ひきこもりへの対応」、「介護と子育てに同時直面」等複合的な課題も上がっている中、各課の取組として、関係部局が連携して対応してきました。

→複雑化・複合化した課題への対応

→窓口での連携によるスムーズな対応

(2) 保健・福祉サービスの充実

■現状や課題

- ・市民アンケート調査では、市が力を入れて取り組むべきこととして、「高齢者や障がい者（児）等の保健福祉サービスの充実」や「認知症の予防や認知症高齢者に対する医療・保健・福祉・介護の連携した支援」等が上位に入っており、保健・福祉サービスのニーズは高く、特に認知症高齢者への対応が求められています。

→保健・福祉ニーズに対するサービスの充実と認知症高齢者支援への対応

(3) 防災・防犯の充実

■現状や課題

- ・市民アンケート調査では、市が力を入れて取り組むべきこととして、「防災・防犯等の活動による安心安全なまちづくり」が最も高く、半数以上の方が防災・防犯の取組を支持しています。
- ・団体アンケート調査では、幼稚園・保育所・認定こども園では、防災や不審者に対する計画の見直しを図ったので良くなった、小・中学校では防犯カメラを設置されたため良くなった等の肯定的な意見がみられました。

→防災・防犯の意識の向上、さらなる取組の強化